

大阪大學總合學術博物館  
年報  
2011



大阪大学総合学術博物館  
The Museum of Osaka University

大阪大学総合学術博物館

年報 2011



## はじめに

平成 23 年（2011）は大阪大学創立 80 周年の記念すべき年でした。全学をあげて記念事業が行われ、本館でも、従来の調査研究活動に加え、創立 80 周年にちなんだ記念展など、特色ある事業を展開しました。詳細は本文中で報告されていますが、『年報 2011』刊行にあたり、最初にそうした活動概要をご紹介いたします。

春季には、大阪大学創立 80 周年・豊中市制施行 75 周年を記念する「阪大生・手塚治虫 - 医師か？ マンガ家か？ -」は、手塚治虫の学生マンガ家時代をテーマに、豊中市や大学院医学研究科等の関係機関からの支援を得て開催され、入館者数は過去最高を数えました。秋季には、最先端技術を用いた展示で不思議な知覚体験ができる、企画展「脳の中の「わたし」と情報の中の＜私＞ 一五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術一」を大学院情報科学研究科や独立行政法人情報通信機構（NICT）等の学内外からの協力を得て開催しました。待兼山もワークショップの会場として活用し、参加者に五感が刺激される体験をして頂きました。

教育普及では、「サイエンスカフェ@待兼山」を実施したほか、「夏の小学生科学体験教室」も豊中市立中央公民館との主催で開催し、理学研究科宇宙地球科学専攻共催の「全国同時七夕講演会 大阪大学講演」、湯川記念室の主催行事「最先端の物理を高校生に Saturday Afternoon Physics 2011」も好評を博しました。年間の来館者数・団体見学数も前年度を上回りました。

施設では、大阪大学 80 周年に合わせてイ号館がリニューアルされて大阪大学会館となり、当館の歴史展示室、図書資料室、事務室等が整備され、修学館展示場だけではなく、大学会館内の展示室も利用した企画展示が可能となっております。歴史展示室は、5 月に「光明皇后発願 出曜経巻第四」断簡と大阪帝国大学創立に尽力した長岡半太郎初代総長の遺墨などの寄贈品が公開され、こけら落としとなりました。

研究活動では大阪大学総合学術博物館叢書 7 『森野旧薬園と松山本草 薬草のタイムカプセル』を刊行し、所蔵資料では「大阪大学第一号磁界型電子顕微鏡」が重要科学技術史資料、「眞島利行ウルシオール研究関連資料」が認定化学遺産に登録されています。

最後に平成 23 年 8 月 26 日、館長として当館を強く支えてきた江口太郎教授（大学院理学研究科兼任）が大阪大学理事・副学長に就任し、橋爪節也（教授、大学院文学研究科兼任、日本東洋美術史）が新館長を拝命しました。

平成 14 年（2002）の発足以来 10 年の歳月を経たとは言え、博物館としては成長途上にあります。一層アクティブに地域交流型ミュージアムとして活動し、人々に親しまれ、地域になくてはならない博物館を目指したいと考えておりますので、既存の枠を越えて、「阪大スタイル」を誇る博物館らしい新たなエッセンスを加え、さらに特色ある館へと成長できるよう、ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013 年 1 月

大阪大学総合学術博物館長  
橋爪 節也



# 目 次

<b>1. 展覧会報告 I</b>	5
豊中市制施行 75 周年記念事業	
大阪大学総合学術博物館第 13 回企画展 大阪大学創立 80 周年記念展	
阪大生・手塚治虫 －医師か？ マンガ家か？－	
・概要	6
・報告（大阪大学総合学術博物館 准教授 宮久保 圭祐）	9
<b>2. 展覧会報告 II</b>	13
大阪大学総合学術博物館第 14 回企画展	
脳の中の「わたし」と情報の中の＜私＞	
－五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術－	
・概要	14
・報告（大阪大学大学院情報科学研究科 准教授 安藤 英由樹）	17
<b>3. サイエンスカフェ@待兼山 “土曜の午後はミュージアム”</b>	21
・2011 年度 前期（カフェ No.66 ~ 80）	22
・2011 年度 後期（カフェ No.81 ~ 88）	24
<b>4. 夏の小学生科学体験教室</b>	26
・授業内容	27
<b>5. 専任教員活動報告</b>	29
総合学術博物館 研究・教育部	
・資料基礎研究系 准教授 高橋 京子	30
・資料先端研究系 教授 江口 太郎	33
・資料先端研究系 准教授 豊田 二郎	35
・資料先端研究系 准教授 宮久保圭祐	36
・資料先端研究系 教授 橋爪 節也	38
・資料先端研究系 助教 横田 洋	43
総合学術博物館 資料部	
助教 松永 和浩	44
<b>6. 資料</b>	47
・2011 年度の主な活動一覧	48
・入館者数及びアンケート集計結果一覧	51
・団体見学一覧	62
・受賞・表彰等一覧	64
・関連記事一覧	66
・寄贈図書一覧	69
・館内配置図	71



## 1. 展覧会報告 I

豊中市制施行 75 周年記念事業  
大阪大学総合学術博物館第 13 回企画展  
大阪大学創立 80 周年記念展

# 阪大生・手塚治虫 —医師か？ マンガ家か？—

## 概 要

豊中市制施行 75 周年記念事業・大阪大学総合学術博物館 第 13 回企画展 大阪大学創立 80 周年記念展「阪大生・手塚治虫 一医師か？ マンガ家か？ ー」を 2011 年 4 月 28 日（木）から 6 月 30 日（木）の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。

大阪大学創立 80 周年と豊中市制施行 75 周年という節目の年でもあり、開催には豊中市をはじめとした様々な関係機関の協力を得ることができた。

阪大の卒業生である手塚治虫をテーマとしたこの展覧会では、手塚治虫が学生マンガ家時代を過ごした大阪での生活を、当時の写真やその他の資料を通じて紹介するとともに、手塚治虫を成功へと導いた大阪の素晴らしいを改めて認識してもらえる展示を行った。

期間中の待兼山修学館への来場者は 6,831 名と好評であった。

---

### 豊中市制施行 75 周年記念事業・大阪大学総合学術博物館 第 13 回企画展 大阪大学創立 80 周年記念展

テーマ：「阪大生・手塚治虫 一医師か？ マンガ家か？ ー」

期 間：2011 年 4 月 28 日(木)～ 2011 年 6 月 30 日(木)

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

主 催：大阪大学総合学術博物館・大阪大学創立 80 周年記念事業委員会

共 催：大阪大学大学院医学系研究科・豊中市・豊中市教育委員会

協 力：手塚プロダクション・大阪大学 21 世紀懐徳堂

後 援：朝日新聞社

入館者数：6,831 人

#### ミュージアム・レクチャー

第 32 回 4 月 30 日(土)「二人以上の手塚治虫 ～現役科学者から見た手塚の不思議～」

来場者数：85 人

齋藤 彰 氏（大阪大学准教授 工学部 応用自然学科）

第 33 回 5 月 3 日(火・祝)「父親としての手塚治虫」来場者数：150 人

手塚 るみ子 氏（手塚治虫 長女、プランニングプロデューサー）

第 34 回 5 月 28 日(土)「手塚治虫のマンガ・アニメーションの歴史的位置」

来場者数：98 人

清水 義裕 氏（手塚プロダクション 著作権事業局 局長）

第 35 回 6 月 4 日(土)「大阪大学医学部：来し方を振り返り、未来を想う」

来場者数：75 人

平野 俊夫 氏（大阪大学教授 前医学部長<sup>†</sup>）

#### 関連イベント

5 月 14 日(土) 開催場所：豊中市立ルシオーレホール

展覧会関連トークと木下東鶴 講談「手塚治虫物語」来場者数：67 人

木下 東鶴 氏（講談師）

江口 太郎 氏（大阪大学教授、総合学術博物館前館長<sup>‡</sup>）

橋爪 節也 氏（大阪大学教授、総合学術博物館長<sup>\*</sup>）

---

<sup>†</sup>2011 年 8 月から大阪大学総長に就任

<sup>‡</sup>2011 年 8 月から大阪大学理事・副学長に就任

\*2011 年 8 月から総合学術博物館長に就任

豊中市制施行75周年記念事業・大阪大学総合学術博物館第13回企画展

## 大阪大学創立80周年記念展



# 阪大生・手塚治虫 —医師か？マンガ家か？—

2011・4・28(木)  
▶ 6・30(木)

(日祝休館 ただし5月3日・4日は開館)  
10時30分～17時／入場無料  
会場：大阪大学総合学術博物館  
待兼山修学館

ミュージアム  
レクチャー

4月30日(土)  
5月3日(火・祝)  
5月28日(土)  
6月4日(土)

関連イベント  
5月14日(土)  
豊中市立  
ルシオーレホール



主催：大阪大学総合学術博物館  
大阪大学創立80周年記念事業委員会  
共催：大阪大学大学院医学系研究科  
豊中市・豊中市教育委員会  
協力：手塚プロダクション  
大阪大学21世紀懐徳堂  
後援：朝日新聞社  
©手塚プロダクション

# 「医師か？マンガ家か？」 阪大生・手塚治虫

大阪大学創立80周年記念展

豊中市制施行75周年記念事業・大阪大学総合学術博物館第13回企画展

大阪大学医学専門部時代の手塚治虫→

"INSECTA" MEMO RAND BOOK TWO  
1943年4月1日～

手塚治虫が子ども時代に持ち歩いていた手帳。  
中には、昆虫の精密画などが描かれている。



## 関連イベント

5月14日(土)14:00-16:00

展覧会関連トークと

木下東鶴 講談「手塚治虫物語」

豊中市立ルシオーレホール

(阪急宝塚線・大阪モノレール 堂池駅直結  
ルシオーレビル北棟4F)

入場無料、参加自由、30分前受付開始。定員60名

問い合わせ先：豊中市文化芸術・国際室  
TEL 06-6858-2503

日本を代表するマンガ家手塚治虫は大阪大学の卒業生です。終戦の直前1945年に大阪大学医学専門部に入學し医師を目指しました。また、手塚治虫がマンガ家としてデビューしたのは翌年の1946年でした。当時中之島にあった医学専門部での講義・実習が終わると、角帽を脱ぎ、かわりにトレードマークとなったベレー帽をかぶってマンガ家に変身、そのまま松屋町の出版社へと赴く日々が始まりました。手塚治虫はまるで「ジキル博士とハイド氏」のように、まったくちがう二つの世界をかけもちしながら学生生活を送っていました。

阪大在学中の1950年には東京の出版社で代表作の一つ「ジャングル大帝」の連載も開始し、東京と大阪を片道11時間もかけて往復する超多忙な生活となりました。阪大を1951年に卒業する頃には、マンガ家・手塚治虫の名は全国へ轟くようになっていました。1952年には大人気マンガ「鉄腕アトム」の連載を開始するまでに至っています。さらにおどろくべきことに、同年7月には「医師国家資格」を取得しています。

本展覧会では、文化・芸術・自然豊かな北摂地方(豊中・宝塚)で育ち、中之島や松屋町といったにぎやかで活気あふれる街で学生生活を送った手塚治虫の学生マンガ家時代の生活を、「作品」や「写真」その他の資料により振り返るとともに、手塚治虫を成功へと導いた、「雅と俗」を併せもつ「大阪」の秘密を紹介していきます。大阪大学創立80周年を記念するとともに、大阪のすばらしさの一端を再認識していただくことを本展覧会の趣旨といたします。



## ミュージアムレクチャー(全4回)

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3Fセミナー室  
いずれも聴講自由、30分前受付開始。定員60名

**【第32回】4月30日(土)13:30-15:00**

齋藤彰(大阪大学准教授 工学部 応用自然科学科)

「二人以上の手塚治虫～現役科学者から見た手塚の不思議～」

**【第33回】5月3日(火・祝)13:30-15:00**

手塚るみ子(手塚治虫 長女・フランニングプロデューサー)

「父親としての手塚治虫」

**【第34回】5月28日(土)13:30-15:00**

清水義裕(手塚プロダクション 著作権事業局 局長)

「手塚治虫のマンガ・アニメーションの歴史的位置」

**【第35回】6月4日(土)13:30-15:00**

平野俊夫(大阪大学教授 前医学部長)

「大阪大学医学部：来し方を振り返り、未来を想う」



1970年2月号『別冊少年マガジン』掲載  
手塚治虫の自伝マンガ。この頁には、授業中にマンガを描いている手塚が描かれている。

## 交通のご案内

阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩10分

※公共交通機関をご利用ください。

また、当館はリラブリーですので、障害者専用スペースをご活用ください。



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20

tel: 06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

## 報 告

豊中市制施行 75 周年記念事業・大阪大学総合学術博物館第 13 回企画展

大阪大学創立 80 周年記念展

「阪大生・手塚治虫 一医師か？ マンガ家か？－」

大阪大学総合学術博物館

准教授 宮久保 圭祐

第 13 回企画展「阪大生・手塚治虫 一医師か？ マンガ家か？－」は「大阪大学創立 80 周年記念」・「豊中市制施行 75 周年記念」と二つの冠を掲げての開催となり、期間中にのべ 6,831 名の方に来館していただいた。これはそれまでの企画展・特別展期間中の来館者数としては最高の数字である。準備が佳境に入った 2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し、その未曾有の被害に日本全体が大きな衝撃を受け、大阪大学創立 80 周年記念事業も多くが中止や延期という判断になった。しかしながら、この企画展は単なる祝賀行事ではなく、博物館の主要な任務であるということから予定通り実施することとした。さらにいえば今だからこそ、戦後の混乱期の中でがむしゃらに突き進んだ手塚治虫の意思と行動力を見ていただきたいという思いもあった。

大学博物館の展示の基本は、大学で行われた研究やそれに伴い収集された資料の公開にあるだろう。それに対しこの企画展は、手塚治虫という一人の卒業生にスポットを当てたやや特殊な展示である。手塚治虫に関する独自資料も学内にはほとんどなく、展示内容のほとんどが阪大の外部、特に手塚プロダクションが所有する作品や資料が大半を占めることになる。手塚治虫記念館<sup>†</sup>が宝塚にあり、かつ手塚治虫に関する展覧会が全国のどこかでたびたび開催されるなかで、どのように大阪大学でおこなう手塚治虫展としての意義を見出せるかということが問われる企画である。

準備の段階で、今回の企画展に協賛していただいた医学系研究科で大切に保管されている手塚治虫が在籍したことを明白に示す卒業証書原簿が確認でき、さらに医学専門部に手塚治虫と同期に入学された林威三雄氏と連絡をとり、卒業アルバムや同窓会での写真、そこで手塚治虫が書いた色紙などを展覧会に提供していただいた。展覧会の二つの柱として“手塚治虫の阪大生時代”、“手塚治虫と関西の関わり”に焦点を当てることとして、手塚プロに展示可能な資料をビ



学生服姿の手塚治虫とアトム。  
展覧会の会期中、博物館 1 階の  
ロビーに展示された。

ックアップしてもらい、それを補充する資料を阪大博物館として調査するという形で企画展の内容を詰めていった。



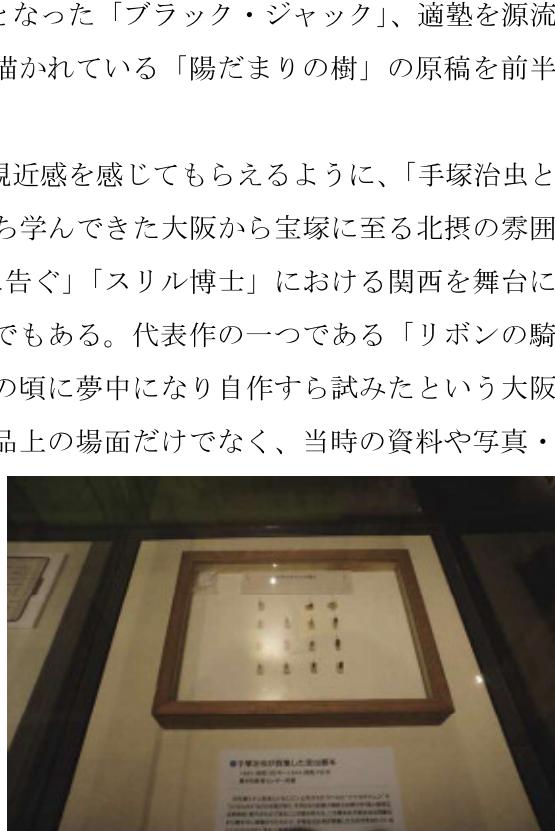
展示風景。写真中央の展示ケースには卒業証書原簿と医師免許証（複製）が納められている。

展示構成としては、前半のテーマは「手塚治虫と大阪大学」として手塚治虫の学生時代を紹介した展示とした。手塚治虫は学生時代にプロのマンガ家としてデビューしている。その当時のことを題材にした自伝的漫画である「がちゃぽい一代記」と自伝「ぼくはマンガ家」で自ら語った記述を軸に、第一部は展開していく。デビュー作である「マアちゃんの日記帳」（複製）、宝塚歌劇団への機関紙への寄稿、「新宝島」をはじめとする赤本漫画（復刻版）、「ジャングル大帝」、「鉄腕アトム」など学生時代に連載をはじめた代表作の原稿などのマンガ家としての作品群は、医学生の傍らとは信じがたいような分量である。医学生としての侧面として、多忙な中で参加した学生劇団の資料、学生時代のノート、当時の写真などの医学専門部の資料や、同窓生の証言、手塚治虫の本名「手塚治」が記載された卒業証書原簿、医師免許証（複製）を展示した。さらに医師でもあった手塚治虫の代表作となった「ブラック・ジャック」、適塾を源流とする大阪大学との手塚の思いがけない縁が描かれている「陽だまりの樹」の原稿を前半の締めくくりとした。

後半では来館者の大半を占める関西の方に親近感を感じてもらえるように、「手塚治虫と“大阪”“阪神間”」と題して手塚が生まれ育ち学んできた大阪から宝塚に至る北摂の雰囲気を感じ取れる展示を目指した。「アドルフに告ぐ」「スリル博士」における関西を舞台にした場面は手塚の関西での足跡をたどるようでもある。代表作の一つである「リボンの騎士」は手塚版「宝塚歌劇」ともいえる。少年の頃に夢中になり自作すら試みたという大阪電気科学館のプラネタリウムに関連して、作品上の場面だけでなく、当時の資料や写真・映像を展示し、手塚同様に科学館に通った方にも懐かしんでいただけるようにした。

手塚の少年時代を語るうえで欠かせないのは昆虫好きということで、作品中にも多くの昆虫をイメージした場面が見られる。少年時代に作成した昆虫手帳の綿密なメモと細密な昆虫の絵は、才能の片鱗をうかがわせるものである。さらに豊中市に偶然残されていた少

展示構成としては、前半のテーマは「手塚治虫と大阪大学」として手塚治虫の学生時代を紹介した展示とした。手塚治虫は学生時代にプロのマンガ家としてデビューしている。その当時のことを題材にした自伝的漫画である「がちゃぽい一代記」と自伝「ぼくはマンガ家」で自ら語った記述を軸に、第一部は展開していく。デビュー作である「マアちゃんの日記帳」（複製）、宝塚歌劇団への機関紙への



少年期に手塚治虫が採集した昆虫標本。一部の標本は豊中市教育センター<sup>†</sup>に所蔵されている。

年の頃の昆虫標本も展示した。さらに手塚治虫のペンネームの由来になったオサムシについて、世界的なコレクターである井村有希氏に貴重な標本を提供していただき、この虫の魅力を多くの方に感じていただくことができたと思う。

手塚の大坂人らしさが作品に現れている要素として、作品の随所にオチをつけたり、ギャグを入れたりする所は、多くの読者が感じる所ではないかと思う。さらに、当館のテーマでもある「文理融合」、「雅」と「俗」の共存するところも、古くから民間文化が栄えた大阪の特色であるというのが当館の主張で、「火の鳥」の場面などを展示として並べた。展示の締めくくりには手塚治虫漫画全集の表紙を並べ、オールドファンには懐かしさを、手塚作品になじみのない方にもその作品の幅広い魅力を感じていただけたのではないだろうか。



手塚治虫漫画全集。壁一面に表紙が並べてあり、手塚治虫の作品を一望できる。

ミュージアム・レクチャーでは、工学部の齋藤彰 准教授には手塚ファンであると同時に現役のサイエンティストでもある視点から、余人をもっては不可能と思える興味深い講演をしていただいた。手塚氏の愛娘である手塚るみ子さんは家族の視点から数々のエピソードをお話しされた。このミュージアム・レクチャーは大阪大学の新人歓迎会であるいちょう祭期間の祝日に実施したこと重なり大変多くの方が詰めかけ、会場が狭いことが恨めしく思えるほどであった。手塚プロの清水義裕氏は手塚作品の歴史的な位置づけの話の他、現在数多く制作されている手塚作品からの派生作品についての話をされ活発な質疑応答が有った。しめくくりに企画展に協賛していただいた医学系研究科から、平野俊夫教授（現阪大総長）から、医学部の歴史から医療の未来像に渡る講演をされ熱心な聴衆で会場が満たされた。

今回の企画展では、「豊中市制施行 75 周年記念」として、豊中市と豊中市教育委員会の協賛を仰ぎ、企画展の資金や広報での協力、少年時代の昆虫標本資料の提供をしていただいた。さらに企画展関連イベントとして、豊中市が木下東鶴さんの講談「手塚治虫物語」を中心に当館の江口太郎教授（当時館長）・橋爪節也教授（現 館長）との対談を組み合わせたイベントを展覧会中に実施してこちらも盛



展覧会関連トークと木下東鶴 講談「手塚治虫物語」の実施風景。関連イベントとして豊中市立ルシオーレホールで開催され、多くの参加者が訪れた。（写真：江口太郎教授（左）講談師 木下東鶴さん（中央）橋爪節也館長（右））

況であった。阪大博物館として地域連携の新たな一步を踏み出すことが出来た。

この企画展は大学博物館らしからぬ一般の方の興味を引きやすいテーマであるとともに、協賛・後援していただいた各団体の広報面での協力もあり、多くの方に楽しんでいただくことができた。大阪大学総合学術博物館の認知度を高めるのにも効果があったと思う。大阪大学で実施するだけの意義・独自性があったかについては実際に企画展を見ていただいた方の判断にゆだねるしかない。最後に、この企画展の展示にご協力いただいた皆様、とくに全面的に協力していただいた手塚プロダクションと、担当各位に深く感謝いたします。



関係者を対象とした事前公開の様子。大阪大学学内の関係者を含め、手塚プロダクションや豊中市から多くの関係者の参加があり、好評をいただいた。

† 宝塚市立手塚治虫記念館  
住所：兵庫県宝塚市武庫川町 7-65  
ホームページ：<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/tezuka/>

‡ 豊中市教育センター  
住所：豊中市螢池中町 3-2-1  
ホームページ：<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/educ>

## 2. 展覧会報告Ⅱ

大阪大学総合学術博物館第14回企画展

脳の中の「わたし」と情報の中の<私>  
—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—

## 概 要

大阪大学総合学術博物館 第14回企画展「脳の中の「わたし」と情報の中の＜私＞—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—」を2011年10月25日（火）から2012年2月4日（土）の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。

脳と情報をテーマとしたこの展覧会では、本学がリードする人間科学と情報科学の融合研究をもとにした8点余りの体験型作品を展示し、現代社会に無くてはならない携帯電話、インターネットなどの情報機器が人に歩み寄っている状況を鑑みて、脳の中で認識している「わたし」と、インターフェース技術によって再び提示された情報の中の＜私＞との関係性について、不思議な感覚が味わえる体験型の展覧会を通じて再認識する企画展を行った。

期間中の待兼山修学館への来場者は約4,700名と好評であった。

---

### 大阪大学総合学術博物館 第14回企画展

テーマ：「脳の中の「わたし」と情報の中の＜私＞—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—」

期 間：2011年10月25日(火)～2012年2月4日(土)

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階多目的ルーム

主 催：大阪大学総合学術博物館・大阪大学大学院情報科学研究科

協 賛：独立行政法人 情報通信研究機構(NICT)

協 力：大阪大学大学院医学系研究科・大阪大学21世紀懐徳堂

入館者数：4,710人

#### ワークショップ

11月3日(木・祝)・4日(金) 各日3回実施 全6回 参加者数：計50人

「心臓ピクニック」 生命に不可欠な心臓。その鼓動を手の中に感じる。

坂倉 杏介 氏 (慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所特任講師)

安藤 英由樹 氏 (大阪大学大学院情報科学研究科准教授)

12月3日(土) 全2回 参加者数：計11人

「文章の読み跡」 文章を読むときに感じる「抑揚や調子」をより深く体感する。

丸谷 和史 氏 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

渡邊 淳司 氏 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

安藤 英由樹 氏 (大阪大学大学院情報科学研究科准教授)

#### ミュージアム・レクチャー

第36回 11月12日(土)「生物に学ぶ情報学」来場者数：42人

宮原 秀夫 氏 (情報通信研究機構理事長、元大阪大学総長)

第37回 11月19日(土)「脳が世界を見る～わたしが知らないうちに」来場者数：50人

藤田 一郎 氏 (大阪大学大学院生命機能研究科教授)

第38回 11月26日(土)「ゆらぎが脳をひらめかす」来場者数：64人

柳田 敏雄 氏 (大阪大学大学院生命機能研究科特任教授)

第39回 2012年1月14日(土)「「わたし」を知るためのメディア技術」来場者数：75人

渡邊 淳司 氏 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所リサーチスペシャリスト)

第40回 2012年1月21日(土)「(人間の法則+物理の法則)÷2」来場者数：35人

藤木 淳 氏 (国際メディア研究財団研究員)

新感覚インタフェース研究に基づき作品制作を手がける  
安藤英由樹(大阪大学大学院情報科学研究科准教授)が  
企画した体験型作品10点余りが集合!

# 脳の中の「わたし」と情報の中の「私」

五感を揺るがす

摩訶不思議なメディア技術



会期

2011年10月25日(火)～2012年2月4日(土)

休館日

日・祝及び年末年始(12月29日～1月3日)  
ただし11月3日(木・祝)、11月6日(日)は開館

開館時間 10時30分～17時 入場無料

会場・お問い合わせ

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20

TEL 06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp>



主催 大阪大学総合学術博物館  
大阪大学大学院情報科学研究科

協賛 情報通信研究機構  
(NICT)



協力 大阪大学大学院医学系研究科  
大阪大学21世紀懐徳堂

ミュージアムレクチャー

11/12, 11/19, 11/26,  
1/14, 1/21 各土曜日  
13時30分開始  
3階セミナー室で開催

ワークショップ

11/3(祝・木), 11/4(金),  
12/3(土)

詳しくは  
HPを  
ご覧下さい

大阪大学総合学術博物館第14回企画展

# 脳の中の「わたし」と情報の中の<私>

## — 五感を揺るがす魔訣不思議なメディア技術 —



本展覧会は、本学創立80周年協賛事業として、脳の中の「わたし」と情報の中の<私>をテーマに企画されました。本学がリードする人間科学と情報科学の融合研究をもとにした10点余りの体験型作品を展示します。企画を務める安藤英由樹は、国内外の著名な展覧会において視覚や触覚に関する最先端インターフェース技術を駆使した展示を行ってきました。

脳の中で認識している「わたし」と、インターフェース技術によって再び提示された情報の中の<私>が必ずしも一致しない……そんな不思議な感覚が味わえる体験型の展覧会をお楽しみ下さい。

### ミュージアムレクチャー

いずれも聴講自由、30分前より受付開始。定員60名。

#### 第36回 11月12日(土) 13:30~15:00

宮原秀夫(情報通信研究機構理事長、元大阪大学総長)  
「生物に学ぶ情報学」

#### 第37回 11月19日(土) 13:30~15:00

藤田一郎(大阪大学大学院生命機能研究科教授)  
「脳が世界を見る～わたしが知らないうちに」

#### 第38回 11月26日(土) 13:30~15:00

柳田敏雄(大阪大学大学院生命機能研究科特任教授)  
「ゆらぎが脳をひらめかす」

#### 第39回 2012年1月14日(土) 13:30~15:00

渡邊淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研究所リサーチスペシャリスト)  
「わたし」を知るためのメディア技術」

#### 第40回 2012年1月21日(土) 13:30~15:00

藤木淳(国際メディア研究財団研究員)  
「(人間の法則+物理の法則)÷2」

### ワークショップ

当日先着順、整理券を配付。  
(代理で整理券を受け取ることはできません。)

#### 「心臓ピクニック」

渡邊淳司+川口ゆい+坂倉杏介+安藤英由樹  
生命に不可欠な心臓。その鼓動を手の中に感じるワークショップ

#### 11月3日(木・祝)・4日(金)

11:00~12:00 / 13:30~14:30 / 15:30~16:30  
全6回 各回定員12名 小学4年生以上対象

#### 「文章の読み跡」

丸谷和史+渡邊淳司+安藤英由樹  
文章を読むときに感じる「抑揚や調子」をより深く体感するワークショップ

#### 12月3日(土)

11:00~13:00 / 14:30~16:30

全2回 各回定員8名 小学4年生以上対象



### 会場・お問い合わせ

#### 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20

TEL 06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp>



■ 阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩10分  
※ 公共交通機関をご利用ください。



## 報 告

「第 14 回企画展「脳の中の「わたし」と情報の中の<私>」  
—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—」展を振り返って

大阪大学大学院情報科学研究科

准教授 安藤 英由樹

携帯電話やコンピュータなどの情報機器、そしてインターネットなどの情報インフラ、これらの存在がなければもはや現代社会は成り立たないと言っても過言ではない。しかし、<情報>という存在は、水道、電気といった物質的な実態を持たないため、それが何で、その中で何が起こっているのか不明瞭である。一方で、誰もが頭の中に携えている「脳」という存在も同様に「わたし」という個体を司っており、これがあるからこそ「わたし」が存在しているといえるものの、その実態についてはいまだ不明な点が多い。この両者の関係について考えてみると、現代社会の情報機器は、日常生活の中の意思決定の主材料として利用されたり、他人とのコミュニケーションツールとして使われるなど、「わたし」に特化したサービスが提供されるようになるなど、「わたし」を形成する脳の機能の本質的な部分に融合し始めているといつてもよい。逆に見ると、「わたし」に特化したもう一人の<私>が鏡の向こうに存在するような情報の世界にいると言っても過言ではない。

この展覧会では、現実世界で生きる脳の中の「わたし」と情報世界で生きる情報の中の<私>に焦点を当てて、この両者の関係をもう一度見つめなおすことを主題とし、企画者である安藤が日頃研究しているメディア技術を応用した作品群をベースに五感に直接働きかける体験型の作品を 8 点展示した。

展示会場の入り口には、大阪大学大学院医学系研究科が所蔵する南方熊楠の脳標本とデジタル情報として残されている熊楠ゆかりの映像を脳に模した標本として、器となる身体を意味する 1.5m 大のマトリョーシカ型のショーケース 2 体にそれぞれ収納した。ここでは、「脳標本から熊楠の記憶を取り出すことはもうできないのだが、情報世界からは熊楠が生きた証や記憶の断片を取り出すことができる」といった意味をもたせ、脳と情報をテーマとした展覧会のシンボルとした。

続く展示は「情報化される「わたし」」、「情報に消える「わたし」」、「なにかになる「わたし」」、「「わたし」から生まれる<私>」の 4 つのゾーンに分け、それぞれ視点の異なる



展覧会のシンボル。マトリョーシカの頭部には南方熊楠の脳標本(左)とデジタルフォトフレーム(右)が納められている。

「わたし」と＜私＞の関係性について、それぞれ 2 つずつの作品を展示した。

「情報化される「わたし」」ゾーンでは、脳の中の「わたし」が生み出す思考や行動の記録が視覚化されると、自分自身の考え方や生活の仕方を改めて意識させるということを念頭に置いた 2 作品が展示された。入り口を入ってまず初めに目に留まる「A day in the life



A day in the life. 画面の中の番号は「起床」「通勤」などの行動に対応しており、時間経過とともに人は画面内を歩きまわる。

(藤木淳・渡邊淳司 2011)」は 2 つの画面から成り、一つ画面には蟻くらいのサイズの人が番号と番号の間を行き来している。これは朝起きてから寝るまでの 200 人分の生活行動の実記録が時間とともに変化するアニメーションとして映し出されており、どの数字の場所の上にいるかでその時の行動の違いがわかるようになっている。多くの人が集まっている場所は、その時沢山の人が同じ事をしていたことになる。もう一つの画面はその特定の

一人を追いかけた映像が提示される。データベース化された年齢・性別・職業そしてそのときの行動のみの情報であるにもかかわらず、日本の縮図を連想させられる作品となっている。その隣にある「親指の記録（前田真由子・鈴木寛和・嘉永真未 2011）」は、一見意味不明な文章が記されたカードが並んでいるように見えるが、実は携帯メール作成における予測変換機能により生成された使用者の使用頻度の高い語彙だけ用いて文章を生成したものである。予測変換機能は利用者が何気なく頻繁に使う沢山の言葉を累積し思考の履歴を形作るものである。しかし、その口調はまるで自身から勝手に抜けだした分身である＜私＞が作成した文章のように思える。

「情報に消える「わたし」」ゾーンでは、「わたし」が情報化されるときに、誰もが区別なく記録され、匿名となった「わたし」を探しだすことの難しさを表現した 2 つの作品が展示された。2 つめの部屋に入ってすぐのスクリーンに大勢の人物キャラクターが動きまわっており、その前にコントローラが置かれている。「P055E510N（藤木淳 2011）」という作品である。画面の中を動きまわる沢山の人物キャラクターの中に、自分が操作しているキャラクターが一人だけいる。目的は自分が操作しているキャラクターを見つけ、ゴールである旗まで誘導することである。しかし、自在に操作できるはずの「わたし」を見つけ



P055E510N. 画面内を縦横無尽に歩きまわる人々の中に1人だけ「わたし」がいる。

出すことはひどく困難であることに驚かされる。さらに、見つけたとしても旗まで誘導すると別のキャラクターに憑依（POSSESSION）してまた見失ってしまう。その向かいに2つの白い箱と人らしきものが投影された2つの細長いスクリーンが見える。「Parallel Lives（安藤英由樹・草地映介・渡邊淳司 2010）」というこの作品では、2つのモニタの中を沢山の小さな人が歩いており、一つのモニタの中の人は皆、影で実体が見えない虚像であり、もう一つのモニタの中の人は皆、実像である。彼らを指でなぞると、その姿は指先で倒したという触感を残してモニタから消え、別のモニタに姿を変えて現れる。体験者は神のような視点で人々を眺めているが、実はその中に体験者自身と思わせる者がいたことに気づく。

「なにかになる「わたし」」ゾーンでは、入り口付近の鏡を体験者が覗きこむことによって、「わたし」一部である顔が情報化され、それが別のものになってしまふ違和感を体験させる。「宿り顔（安藤英由樹・渡邊淳司・前川聰・吉田俊介 2011）」は人を最も象徴する身体部位である顔が、「わたし」とは関係のない様々な物体に合成される。しかし、合成された顔を持つ物体は、実はホログラフ



宿り顔。立体映像のマトリョーシカに体験者の顔が合成される。

のような立体映像であり手を伸ばしても触ることすらできない。「わたし」の顔がついた触ることができない物体に、とても奇妙な感じを覚える。その向かいで、チカチカと点滅する3本の光の棒が見える。「Eye remember you（安藤英由樹・吉田智史・渡邊淳司 2011）」という作品は目を動かした時にしか見えないディスプレイで構成されており、目を動かしたその一瞬、「わたし」の切り取られた眼と鼻のパーツから浮かび上がる顔がある。しかし、その顔は、日ごろ鏡で見ているそれとはどこか異なる。

「「わたし」から生まれる＜私＞」ゾーンでは、自分の心音がいつの間にか他人の心音と重なり合い、自分の影が意思を持って動き出す。＜私＞は情報メディアから生まれた「わたし」とは異なる存在である。「わたし」は＜私＞と新しい人間関係を築いていかねばならない。「心音移入（安藤英由樹・佐藤雅彦・渡邊淳司 2010）」では、体験者は聴診器を胸に当てヘッドホンを通じて自分の心音を聞く。その時目の前には、緊張している人の映像が流れる。映像に合わせて音の強弱が調整されていく中で、だんだんと心音が自分のものなのか映像の中の人のものなのか区別がつかなくなってくる。「わたし」のものであった心音は、私ではない＜私＞になりつつも緊張感は映像の中の人と共有しているように感じる。

「影法師（藤木淳・鈴田健・安藤英由樹・渡邊淳司 2011）」では、自分の影がスクリーン

に投影されている。当然、自分の影は自分の身体と同じ形、同じ動きをするものであり普段は気にも止めない。しかしこの作品では、ある時その影は自分の意志を持って勝手に動き出してしまう。この時になって初めて影とのつながりを感じる。

以上のように、「脳の中の「わたし」と情報の中の＜私＞」という視点から現代社会における情報技術とそれを利用する人との関わり方について、来館者は体験型の展示を通じてなにか感じ取っていただけたと思っている。この展覧会においては、来館者数約4,700名、脳と情報に関するレクチャーに約250名、ワークショップに約60名とタイトルからでは展示のイメージがつかない展覧会にもかかわらず、今までの展示に比べて劣ることもなく盛況のうちに幕を閉じることができた。特に、デジタル世代である小中学生は最新メディア技術であってもすんなり受け入れ楽しんでおり、20-30代の日常的に情報機器に囲まれて暮らしている若者は脳と情報の関わりの再認識という観点から大きな反響があった。本展覧会の展示にあたっては、NTTコミュニケーション科学基礎研究所の渡辺淳司氏、国際メディア芸術財団の藤木淳氏、前田真由子さん他多くの学生さん、情報科学研究科、独立行政法人情報通信研究機構、大阪大学大学院医学研究科の協力、体験型展示につきものの不調に対するケアなど博物館の館長、職員、スタッフの多大な協力がなければ実現は不可能であったと振り返つて思う。この場をお借りして心から御礼申し上げたい。



ワークショップ「心臓ピクニック」の実施風景。  
心臓の鼓動をより強く感じるため、博物館の  
すぐ隣の待兼山まで移動した。



影法師。スクリーンに映し出された自分の影が足音を鳴らして動き出す。



第37回ミュージアム・レクチャー「脳が世界を見る～わたししか知らないうちに」の実施風景。  
当日は多くの参加者が訪れ、会場は大いに盛り上がった。

### 3. サイエンスカフェ@待兼山 “土曜の午後はミュージアム”

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：とよなかサイエンスネット実行委員会

協力：大阪大学 21世紀懐徳堂

前期：2011年 6月 18日（土）～2011年 10月 22日（土） カフェ No.66～80

後期：2011年 12月 24日（土）～2012年 3月 10日（土） カフェ No.81～88

大阪大学で行われている最新の研究を広く人々に紹介するとともに、普段の中で接する機会が少ない専門家と一般の方々の間のコミュニケーションの場となることを目指して「サイエンスカフェ@待兼山」を開催した。「サイエンスカフェ@待兼山」は 2008 年度から豊中市と連携して開催し、文系、理系を問わず様々な分野のテーマを扱ってきた。現在では総合学術博物館のイベントとして定着し、幅広い年代に参加していただいている。家族や友人と一緒に参加される方もおり、実施当日には会場が大いに盛り上がっている様も見られる。

サイエンスカフェの実施状況：

2008 年度	前期	カフェ No. 1 ～ 13	実施 13 回
	後期	カフェ No.14 ～ 27	実施 14 回
2009 年度	前期	カフェ No.28 ～ 37	実施 10 回
	後期	カフェ No.38 ～ 46	実施 9 回
2010 年度	前期	カフェ No.47 ～ 55	実施 9 回
	後期	カフェ No.56 ～ 65	実施 10 回
2011 年度	前期	カフェ No.66 ～ 80	実施 15 回
	後期	カフェ No.81 ～ 88	実施 8 回

No. 66 6月18日（土）  
私たちの体の中にある幹細胞  
井上 明男（理学研究科）  
制限なし

No. 67 6月25日（土）  
身近なエントロピー  
稻葉 章（理学研究科）  
制限なし

No. 68 7月2日（土）  
飛鳥の木簡を読んでみよう  
市 大樹（文学研究科）  
中学生以上

No. 69 7月9日（土）  
漢方最『後』端！？—『温故知新』  
古文書から見えることー  
島田 佳代子（薬学研究科院生）  
制限なし

No. 70 7月16日（土）  
ナノ炭素分子とノーベル賞  
白石 誠司（基礎工学研究科）  
中学生以上

No. 71 7月30日（土）  
はやぶさサンプルを分析する  
土 山 明（理学研究科）  
制限なし

申込方法：Webフォーム、あるいは往復はがき（カフェ1タイトル、住所、氏名、電話番号、年齢を明記。ご家族でお申込の場合、同伴者のお名前、年齢をご記入ください）を下記宛送付。

〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学総合学術博物館  
<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

各カフェの開催日の2ヶ月前から1ヶ月前必着。応募多数の場合、原則として抽選で決定。当選者にはメールもしくは葉書でお知らせします。

No. 72 8月6日（土）  
マチカネワニと出会って  
江口 太郎（総合学術博物館）  
制限なし（親子連れ歓迎）

No. 73 8月20日（土）  
和古書における  
“お宝”の見つけ方  
合山 林太郎（文学研究科）  
制限なし（親子連れ歓迎）

No. 74 8月27日（土）  
絵画のなかの近代大阪を  
どう“読む”か  
橋爪 節也（総合学術博物館）  
制限なし

No. 75 9月3日（土）  
形が違えば意味も違う？  
岡田 穎之（文学研究科）  
高校生以上

No. 76 9月10日（土）

一般相対性理論入門

東島 清（理学研究科）

制限なし

No. 77 10月1日（土）

生命の仕組みを探る

野村 泰伸（基礎工学研究科）

高校生以上

No. 78 10月8日（土）  
コーヒーカップのミルクは  
なぜ混ざる？

井上 義朗（基礎工学研究科）  
高校生以上

No. 79 10月15日（土）

頼りになる薬剤師：『くすりの  
いろは』教えます！

中村 勇斗（薬学研究科院生）  
制限なし

No. 80 10月22日（土）

日本中世の人々と災害

松永 和浩（総合学術博物館）  
制限なし

場所： 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3階セミナー室

時間： 午後2：00～3：30（午後5：00閉館）

定員： 各回とも30名程度

参加費： 飲み物代(200円)が必要

※「制限なし」のカフェの参加可能年齢は「小学生以上」とさせていただきます。

# サイエンスカフェ @ 待兼山

大阪大学総合学術博物館で、サイエンスカフェを楽しみませんか。コーヒーを片手にゆったりとした雰囲気で、「科学する」とはどういうことか、研究者とともに考えていきます。それを通して専門家と一般の方々の間のコミュニケーション不全を少しでも改善したいと思っています。お気軽にご参加ください。

共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂



サイエンスカフェ@待兼山（前期：2011年6月18日～2011年10月22日 カフェ No.66～80）

カフェ No.	実施日	タイトル	要旨
		コーディネーター	
66	2011年 6/18（土）	私たちの体の中にある幹細胞	私たちの体の中には幹細胞（組織幹細胞）という何にでもなれる細胞がいて、体が傷ついたときには増殖し分化して傷を治します。この細胞は受精卵にある胚性幹細胞（ES細胞）や人工の胚性幹細胞であるiPS細胞ほど万能性はありません。しかし、ガンにはなりにくくて、病気の治療に使えるのはどたいへん注目されています。この細胞の増殖と分化のしくみはまだ謎のままで、現在多くの研究者によって研究されています。
		井上 明男	
67	6/25（土）	身近なエントロピー	せっかくの熱いコーヒーも、そのうち冷めてしまう。ミルクを加えると、そのうち均一に混ざる。しかし逆に、冷めたコーヒーが突如として沸騰することはないし、いったん混ざったミルクがコーヒーから分離することもない。日常経験するごくありふれた現象は、実は「エネルギー」だけでは説明ができます、「エントロピー」という概念が必要になります。もちろん、エントロピーは実際に測れる量です。そんな熱力学にちょっと触れてみましょう。
		稻葉 章	
68	7/2（土）	飛鳥の木簡を読んでみよう	飛鳥時代（7世紀）は、中国を数百年ぶりに統一した隋・唐帝国の誕生を受け、東アジア世界が激動を迎えた時期にあたります。この時代、日本では律令国家の建設に邁進していましたが、それは激動の東アジア情勢に対処するための国づくりでした。しかしそれは試行錯誤の繰り返しでもありました。そんな飛鳥時代の木簡と一緒に読んでみませんか。
		市 大樹	
69	7/9（土）	漢方最『後』端！？—『温故知新』古文書から見えること—	日々の研究の積み重ねにより、科学分野では次々と新しい論文が発表され、教科書も書き変わっています。しかし、一方の漢方分野では、今ではあるか昔に書かれた『傷寒論』や『金匱要略』などの古典が最も重要な教科書となっています。ここでは『温故知新』『経験知』をキーワードに、江戸時代に書かれた日本の古文書から漢方医学について考えてみましょう。
		島田佳代子	
70	7/16（土）	ナノ炭素分子とノーベル賞	フラー・レン・カーボンナノチューブ・グラフェンなどのナノ炭素分子が今非常に注目されています。少し前まで「炭素材は古い」と言われてきましたが、これらナノ炭素分子の発見により今や年に数千件の論文が出版されるほどの熱狂ぶりで、ノーベル賞も2件出てしまいました。この魅力的な材料の劇的な発見ストーリーを紹介しながらその将来性を紹介します。
		白石 誠司	
71	7/30（土）	はやぶさサンプルを分析する	宇宙探査機「はやぶさ」は小惑星イトカワに到着して、いろいろな観測をおこなったのちサンプルを採取しました。サンプルは昨年6月に無事地球に帰還し、今年の1月から初期分析が始まっています。このサンプルが果たしてどのようなものであったのか、みていくましょう。
		土山 明	
72	8/6（土）	マチカネワニと出会って	阪大博物館ではマチカネワニをもっと有名にしようと頑張っています。なぜだと思いますか？大学博物館の標本は、単に展示するだけでなく、いまでも研究や教育に活用されています。いっしょにマチカネワニを探求してみましょう。
		江口 太郎	
73	8/20（土）	和古書における“お宝”の見つけ方	日本の伝統的な様式に則って作られた書物のことを、和本と言います。こうした和本は、博物館や図書館に珍藏されているだけではなく、町なかの古本屋さんで、今でも入手することができます。ただし、その値段は、五百円から数百万円まで様々です。これらの和古書は、どのようにしてその値段が決まるのでしょうか。また、そもそも“価値のある本”“よい本”とは、何でしょうか。本回では、江戸時代から明治時代までの和古書を見る際のポイントを紹介し、モノ（文化財）を扱うことの楽しさについて解説します。ハマれば、あなたも明日からお宝鑑定団！？
		合山林太郎	
74	8/27（土）	絵画のなかの近代大阪をどう“読む”か	一般に絵画は、美しい芸術作品として鑑賞の対象と考えられています。しかし、個々の作品をどのように味わうかは人それぞれです。今回は、小出栄重や織田一磨などの近代の大坂風景を描いた作品をとりあげ、それを造形的にどう解釈するのか、大阪の歴史や自身の“記憶”を踏まえて何を読み取るなどを、参加者全員で見たいと思います。
		橋爪 節也	
75	9/3（土）	形が違えば意味も違う？	日本語の表現を少し入れ替えただけでも意味に違いが生じることは、誰でも経験的に知っていることですが、それは日本語に限ったことではありません。英語の表現も少しの違いが、様々な意味の違いを生み出すことがあります。なぜ意味の違いが生じるのか、ということを表現形式が持っている特徴から考えていくべきだと思います。
		岡田 穎之	
76	9/10（土）	一般相対性理論入門	なぜ地球は太陽の周りを回るのか？太陽が地球を引っ張っているから曲がるのだ。いや、地球は太陽のために歪んだ時間・空間を真っ直ぐに進んでいるに過ぎない。一体どちらが正しいのか。あなたはニュートンの力学的世界観とアインシュタインの幾何学的世界観のどちらを信じるだろうか？
		東島 清	
77	10/1（土）	生命の仕組みを探る－いのちの統合的理解を目指す分野の垣根を越えた総力戦－	基礎工学研究科・生体工学領域の教員が中核となって行っている文部科学省グローバルCOEプログラム・大阪大学拠点「医・工・情報学融合による予測医学基盤創成」の研究推進活動を紹介します。当プロジェクトでは21世紀の新しい生命科学・生体医工学をつくる先進的な取組として遺伝子から人体に至る様々なスケールにおける生命機能発現と疾病的メカニズムを統合的に理解し、病気診断や治療予測を可能にする仕組みの構築を目指しています。
		野村 泰伸	
78	10/8（土）	コーヒーカップのミルクはなぜ混ざる？－流体混合の不思議－	コーヒーカップに入れたミルクをスプーンでかき混ぜることは、毎日の生活の中でごく普通に行われ、小さな子供でもできることです。しかし、「なぜ混ざるのか？」と問われるところには答えられない。実際、流体混合を科学的に正確に答えようとするととても難しい問題です。おまけにバラドックス的に見えることがいっぱい。さあ、ありふれた日常生活の中に潜むミキシングの謎を解く旅に、一緒に出かけてみましょう。
		井上 義朗	
79	10/15（土）	頼りになる薬剤師：『くすりのいろは』教えます！	「風邪、ひき始めには・・・」「つらい肩こり・頭痛には・・・」など、テレビCMでよく耳にする「クスリ」の宣伝ですが、体調不良時のクスリ選びは大丈夫ですか？薬剤師は病院・薬局だけでなく、学校薬剤師や環境衛生・麻薬・覚醒剤取締りなど広範囲の領域で活動しています。身近な「かかりつけ薬局」の利用法やセルフメディケーション・予防のノウハウを一緒に考えましょう。
		中村 勇斗	
80	10/22（土）	日本中世の人々と災害	地震、水害、飢饉、・・・。日本中世の人々は自然の脅威に向き合いながら力強く生きていきました。近年の日本史学では、災害史という研究分野が飛躍的に進展しています。ここでは最新の成果を紹介し、災害というわれわれも共有できる地平に立って、過去の人々の経験を振り返るとともに、自らを見つめ直す機会にしたいと思います。
		松永 和浩	

# Museum of Osaka University

# Science Café at Machikaneyama

大阪大学総合学術博物館で、サイエンスカフェを楽しみませんか。コーヒーを片手にゆったりとした雰囲気で、「科学する」とはどういうことか、研究者とともに考えていきます。それを通して専門家と一般の方々の間のコミュニケーション不全を少しでも改善したいと思っています。お気軽にご参加ください。

No.81

2011年12月24日(土)

タンポポが教えてくれること  
～タンポポを通して人間と環境の関係を考える～  
近藤 小百合(薬学研究科)  
時間:14:00～15:30  
対象:制限なし

No.82

2012年1月7日(土)

ニュースの作り方  
田村 恒憲(文学研究科)  
時間:14:00～15:30  
対象:中学生以上

No.83

2012年1月28日(土)

南部理論と小林・益川理論  
波場 直之(理学研究科)  
時間:13:00～14:30 ←時間注意(通常と異なります)  
対象:中学生以上

No.84

2012年2月4日(土)

和の色のガラスをつくる  
金森 寛(富山大学)  
野田 雄一(富山ガラス工房)  
時間:13:00～14:30 ←時間注意(通常と異なります)  
対象:制限なし

No.85

2012年2月18日(土)

「石」のはなし  
～遠くて近いもの～  
伊藤 謙(総合学術博物館)  
時間:14:00～15:30  
対象:制限なし

No.86

2012年2月25日(土)

知っておきたい生薬の基礎  
～同じようで違うもの～  
東 由子(薬学研究科)  
時間:14:00～15:30  
対象:制限なし

No.87

2012年3月3日(土)

液晶をたのしもう  
久保 孝史(理学研究科)  
時間:14:00～15:30  
対象:中学生以上

No.88

2012年3月10日(土)

ホタルの光のひみつ  
豊田 二郎(総合学術博物館)  
時間:14:00～15:30  
対象:制限なし

## サイエンスカフェ@待兼山

開催場所: 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3階セミナー室  
定 員: 各回とも30名程度  
参加費用: 飲み物代(200円)が必要  
共 催: とよなかサイエンスネット実行委員会  
協 力: 大阪大学21世紀懐徳堂

### 申込方法

Webフォームあるいは往復ハガキにてお申し込みください。

#### Webフォーム

申込受付期間確認ページ内のリンクをクリック。  
<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

#### 往復ハガキ

カフェ1タイトル、住所、氏名、電話番号、年齢を明記。ご家族でお申込の場合、同伴者のお名前、年齢をご記入の上、下記宛に送付。  
〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学総合学術博物館

#### 申込期間

各カフェ開催日の2ヶ月前から1ヶ月前。各カフェのタイトルごとに確認願います。締め切り日必着。

※申込期間以外のご応募は無効とさせていただきます。  
※応募多数の場合、原則として抽選で決定。抽選結果はメールもしくはハガキでお知らせします。  
※「制限なし」のカフェの参加可能年齢は「小学生以上」とさせていただきます。

サイエンスカフェ@待兼山（前期：2011年6月18日～2011年10月22日 カフェ No.66～80）

カフェ No.	実施日	タ イ プル	要 旨
		コーディネーター	
81	2011年 12/24(土)	タンポポが教えてくれること～「タンポポを通して人間と環境の関係を考える」 近藤小百合	春になると咲く黄色い花—タンポポは子どもから大人まで皆さんが知っているでしょう。しかし、タンポポにはいくつかの種類があることを知っているでしょうか。タンポポは種類によって住みやすい環境が違っています。そして、実はその環境に大きく影響しているのは私たち「人間」なのです。「人間」と「タンポポ」、「タンポポ」と「環境」の関係見ていくことで、これから「人間」と「環境」の関わり方を考えたいと思います。
82	2012年 1/7 (土)	ニュースの作り方 田村恒憲	テレビや新聞といった報道機関は日々、ニュースを生産し流通させています。国政与党代表選、株や為替など経済指標の変化、国際紛争、プロ野球のハイライト、季節の風物詩、殺人事件・・・などなどさまざま。新しく起ったさまざまな「事実」を記述し、伝えることがジャーナリズムの役割ですが、ニュースは事実そのものではない。何をどのようにニュースに仕立て上げるかには一定のパターン（物の見方）があることに気づかれている方も少なくはないでしょう。私が思うに、このパターンというものは、ニュース記事特有の書き方（形式）が影響を及ぼしている部分もあると思われます。出席してくださった方々に実際に基本的な事件や事故記事を書き、「普通の文章」とニュースの形式の違いを体感してもらいたい、日々何気なく眺めているニュースがいかに特殊な表現であるかを見てもらおうと思います。
83	1/28 (土)	南部理論と小林・益川理論 波場直之	素粒子理論物理学は、湯川先生、朝永先生等日本人がとても活躍している分野です。ノーベル賞を受賞された南部先生と小林・益川両先生の理論を出来るだけ分かりやすく解説します。
84	2/4 (土)	和の色のガラスを作る 金森 寛 野田雄一	近年、全国各地にガラス工房ができ、日本人の普段の生活の中にもガラス製品が多く使われるようになってきました。富山市はガラス工芸に力を入れており、世界の中でも有数の規模の工房を設置しています。ガラスの魅力の一につき、陶磁器とは異なる独特の色があります。しかし、色ガラスの原料のほとんどは外国産です。日本には、日本人が好み、日本の文化に合った特有の色、「和の色」があります。日本食やお酒にはやはり「和の色」のガラス食器が欲しいものです。このカフェでは、富山ガラス工房と富山大学理学部が行なってきた「和の色ガラス」の開発についてお話をします。
85	2/18 (土)	「石」のはなし—遠くて近いもの 伊藤 謙	皆さんは、「石」と聞くと何を想像しますか？一宝石などの装飾品だけが石ではありません。私たちの身の周りにある金属製品の原料は、石です。しかし、原料をみたことはありますか？石は、化粧品や薬にもなることはご存知でしょうか？このように、石は私達の周りに「身近」に存在していますが、その起源となると多くの人が知らない「遠い」存在もあります。皆さんとそんな石のふしげに触れていいたいと思います。
86	2/25 (土)	知っておきたい生薬の基礎～同じようで違うもの～ 東 由子	生薬の中には、貴重で高価なために代替品が開発されたものや同じ呼称でも国により基原植物が異なるものがあります。知らずに間違って使用すると、期待する効果が得られなかったり重篤な副作用が現れたりすることがあります。日本薬局方に適合するものが使用されていれば問題はありませんが、旅先だけでなくインターネット等でも海外製品を容易に入手できる今の時代、知っておいていただきたい生薬のお話です。
87	3/3 (土)	液晶をたのしもう 久保孝史	液晶と聞いて真っ先に思い浮かべるのは、携帯電話や、ノートパソコン、壁掛けテレビなどのディスプレイでしょう。実は、そのディスプレイの中にトロトロの液状物質が詰まっているのをご存知でしたか？その物質こそが液晶と呼ばれるものです。液晶は、分子の向きは揃っているのですが、位置に規則性がない特殊な物質で、その特性を活かしてディスプレイに利用されています。そんな液晶の性質を、光学的な特性も交えながら、学んでみましょう。
88	3/10 (土)	ホタルの光のひみつ 豊田二郎	ホタルを素手でとったことがありますか？熱かったでしょうか？いまでは、アニメ映画「火垂るの墓」でしかホタルを知らない人も多いかもしれません。ホタルが光るしくみとまったく同じことを試験管の中で行い、電灯とは違う光（化学発光）の性質と酵素反応について、参加者全員に体験していただきます。

## 4. 夏の小学生科学体験教室

主催：大阪大学総合学術博物館

豊中市立中央公民館（とよなかサイエンスネット実行委員会）

時期：2011年8月9日（火）～12日（金）

文系、理系を問わず様々な分野に対する興味や関心を、子どもたちに持ってもらうことをを目指して「夏の小学生科学体験教室」を開催した。昨年度と同じく自由応募制(小学校5、6年生対象)という形をとり、大阪大学総合学術博物館と豊中市とで連携して開催した。当館及び大阪大学大学院理学研究科所属の講師4人が実験・実演を交えた体験型理科授業を行い、当日は子どもたちの元気な声がとびかかった。(当日の参加者数はのべ92名、保護者含まず)。



「「豊中」の誕生

—地名の由来を調べてみよう—



「冷やせ！ -195°Cの不思議な世界」



「氷の中に花が咲く？

～チンダル像の観察～」



「回転運動で遊ぼう」

## 授業内容

### 8月9日（火）

タイトル：「「豊中」の誕生－地名の由来を調べてみよう－」

講 師：松永 和浩 助教（総合学術博物館）

参加人数：10人

概 要：豊中という地名にはどんな意味があるのだろう？ いつから豊中と呼ばれるようになったのだろう？ 昔の本や地図をつかって、わたしたちが住む地域の地名の由来を調べてみましょう。

### 8月10日（水）

タイトル：「冷やせ！ －195℃の不思議な世界」

講 師：宮久保 圭祐 准教授（総合学術博物館）

参加人数：25人

概 要：いろいろなものを思いっきり冷やして、－195℃の低温まで冷やすと、普段とは違う様子が現れてきます。窒素を思いっきり冷やして液体になった液体窒素を使っていろいろなものを冷やしてみましょう。

### 8月11日（木）

タイトル：「氷の中に花が咲く？～チンダル像の観察～」

講 師：谷 篤史 助教（理学研究科）

参加人数：28人

概 要：透明な氷に光を当ててみると、氷の中に何が見えるかな？ 形の観察のほか、クイズを通じて氷の持つ性質に迫ります。

### 8月12日（金）

タイトル：「回転運動で遊ぼう」

講 師：藤田 佳孝 准教授（理学研究科）

参加人数：29人

概 要：身の回りの「運動」を見ると、基本になっているのが、直線運動と回転運動です。日頃から見慣れているのに気がつかない、回転運動の持つ「秘密」を科学の目で見てみましょう。

※ 各日の参加者数は保護者の数を含まない



## 5. 専任教員活動報告

# 2011 年度 教員実績表

(2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)

- 研究・教育部 資料基礎研究系  
・准教授 高橋 京子
- 資料先端研究系  
・教 授 江口 太郎 (前館長<sup>†</sup>)  
・准教授 豊田 二郎  
・准教授 宮久保圭祐
- 資料情報研究系  
・教 授 橋爪 節也 (館長<sup>‡</sup>)  
・助 教 横田 洋
- 資料部 助 教 松永 和浩

† 2011 年 8 月から大阪大学理事・副学長に就任  
‡ 2011 年 8 月から総合学術博物館長に就任

准教授 高橋 京子

## 【教育活動】

## 担当授業

学期・学部	科目名
1学期・薬学部	薬用植物学〔共担〕
1学期・共通教育科目〔全学部〕	実践的博物科学〔共担〕
1学期・薬学研究科修士課程	伝統医薬解析学特別講義

## 学生指導

学生数(留学生含む)	留学生数	共同・分担した指導教官人数
7名	0名	0名

## 学位論文審査等

学位申請者および論文名	主査 / 副査
[修士論文] 薬用資源の文化財分析法を用いた新規標準化インデックスの探索	主査
[修士論文] メタロミクス解析による薬用芍薬の探索的品質評価と国産化応用	主査

## 【研究活動】

## 著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
[大阪大学総合学術博物館叢書7] 森野旧薬園と松山本草： 薬草のタイムカプセル	高橋 京子 森野 繁子	大阪大学出版会	96頁	2012年3月

## 学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
漢方薬を学ぶ 漢方の歴史	豊中市立中央公民館	2012年1月5日	豊中市立中央公民館主催・阪大博連携市民講座

## 研究(学会)発表など

タイトル	場所	年月日	備考
大和大字陀『森野旧薬園』の意義： 植物相の時系列変遷と生態系保全の検証	第62回日本東洋医学会〔札幌〕	2011年6月10-12日	口頭発表
統計学的解析から見る『緒方洪庵の薬箱(大阪大学所蔵)』 由来生薬の特性	第62回日本東洋医学会〔札幌〕	2011年6月10-12日	口頭発表
森野旧薬園所蔵・藤助(賽郭)真写『松山本草』の保存と環境社会学的意義	第6回博物科学会〔名古屋〕	2011年6月23-24日	口頭発表

タイトル	場所	年月日	備考
Taurine and healthcare: Benefits of ethnopharmacological knowledge	The 12 <sup>h</sup> International Congress on Amino Acids, Peptides and Proteins 〔中国・北京〕	2011年 8月1—5日	口頭発表
ウコン類生薬の品質評価：メタロミクス解析による検討	第28回和漢医薬学会 〔富山〕	2011年 8月27—28日	口頭発表
博物学資料から学ぶ生物多様性の原点と実践： 大和大字陀『森野旧薬園』と薬種国産化政策	第58回日本生薬学会 ・シンポジウム 〔生物多様性ホットスポットと薬用資源学〕	2011年 9月24—25日	シンポジウム 口頭発表
森野藤助(賽郭)真写『松山本草』研究： 大和(奈良)における薬種国産化政策の検証	第58回日本生薬学会 〔東京〕	2011年 9月24—25日	口頭発表
森野旧薬園の環境社会学的意義： カタクリ及びタンポポ属調査による評価解析	第58回日本生薬学会 〔東京〕	2011年 9月24—25日	口頭発表
メタロミクス解析による薬用芍薬の品質評価： GA-PLSを用いた「白芍」・「赤芍」分類の試み	第58回日本生薬学会 〔東京〕	2011年 9月24—25日	口頭発表
化石由来生薬『竜骨』の資源保全に関する検討： 博物資料や漢薬にみる基原と背景	第58回日本生薬学会 〔東京〕	2011年 9月24—25日	口頭発表
Quality characterization of Paeonia Radix using a metallomics analysis.	The 6 <sup>th</sup> CCTCNM-KSP-JSP Joint Symp. On pharmacognosy 〔Shenyang China〕	2011年 10月21—22日	ポスター発表
森野旧薬園所蔵『松山本草』から発信する国産生薬研究ストラテジー	平成23年度東洋医学 会関西支部例会 〔大阪〕	2011年 10月30日	口頭発表
当帰芍薬散：伝統的剤形の有用性と原料生薬の品質	平成23年度東洋医学 会関西支部例会 〔大阪〕	2011年 10月30日	口頭発表
コーヒーレント放射光を用いた生薬材料評価法の検討	放射光学会〔大阪〕	2012年 2月1日	ポスター発表
Approach to evidence-based aromatherapy: Pharmacological effects of inhaled aromatic medicines. (医療としての「アロマテラピー」の可能性を 探る：吸入による芳香性生薬類の作用)	第85回日本薬理学会 〔京都〕	2012年 3月14—15日	シンポジウム 口頭発表
化石由来『竜骨』の基原と漢方処方中の存在意義： 微量元素プロファイル解析による検証	第132回日本薬学会 〔札幌〕	2012年 3月29—31日	口頭発表
江戸期におけるインフルエンザパンデミックに対する漢 方の応用～杏雨書屋所蔵資料の分析を通じて～	第132回日本薬学会 〔札幌〕	2012年 3月29—31日	口頭発表

#### 報道

タイトル	場所	年月日	備考
旧薬園に学ぶ生物多様性の保全	漢方医薬新聞会	2011年 8月15日	第62回日本東 洋医学会 記事

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続 / 新規
科学研究費補助金：基盤研究(B) 薬用資源の文化財分析法を用いた新規標準化インデックスの探索	高橋 京子	2010— 2012 年度	継続
科学研究費補助金：基盤研究(B) [分担金] 食品産業とバイオ産業の融合による栄養健康産業クラスターの構築に関する国際比較研究	後藤 一寿	2011— 2012 年度	新規

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
サイエンスカフェ@待兼山 No.69：島田 佳代子 漢方最『後』端！？ —『温故知新』古文書から見えること—	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2011 年 7 月 9 日
サイエンスカフェ@待兼山 No.79：中村 勇斗 頼りになる薬剤師：『くすりのいろは』教えます！	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2011 年 10 月 15 日
サイエンスカフェ@待兼山 No.81：近藤 小百合 タンポポが教えてくれること ～「タンポポを通して人間と環境の関係を考える」	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2011 年 12 月 24 日
サイエンスカフェ@待兼山 No.86：東 由子 知っておきたい生薬の基礎 ～同じようで違うもの～	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2011 年 2 月 25 日

教授 江口 太郎

## 【教育活動】

## 担当授業

学期・学部	科目名
1学期・経済学部	特殊講義（現代科学を読み解く） [共担]
1学期・共通教育科目 [全学部]	大阪大学の歴史 [共担]
1学期・共通教育科目 [全学部]	実践的博物科学 [共担]
1学期・共通教育科目 [人,文,法,経,医,歯,薬,理,基]	現代科学を読み解く [共担]
1学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーI [共担]
1学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーII [共担]
1学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学(I) [共担]
2学期・共通教育科目 [理]	基礎化学2 [共担]
2学期・共通教育科目 [工(電)]	化学実験 [共担]
2学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーI [共担]
2学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーII [共担]
通年・理学部 (化)	化学特別研究
通年・理学部 (化)	化学文献調査
通年・理学研究科博士後期課程 (化)	核磁気共鳴分光学特別セミナー

## 学生指導

学生数（留学生含む）	留学生数	共同・分担した指導教官人数
3名	0名	2名

## 学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
大学博物館と科学リテラシー	放送大学	2011年 12月10・17日

## 【研究活動】

## 学術論文

論文名	著者名	雑誌	巻・号・頁	発行年月
TiO <sub>2</sub> photocatalyst for degradation of organic compounds in water and air supported on highly hydrophobic FAU zeolite: Structural, sorptive, and photocatalytic studies	Y. Kuwahara J. Aoyama K. Miyakubo T. Eguchi T. Kamegawa K. Mori H. Yamashita	Journal of Catalysis	巻：285 号：1 頁：223-234	2012年1月
<sup>1</sup> H NMR Study of Molecular Motion of Benzene and n-Decane Confined in the Nanocavities of Metal-Organic Frameworks	T. Ueda K. Kurokawa Y. Kawamura K. Miyakubo T. Eguchi	Journal of Physical Chemistry C	巻：116 号：1 頁：1012-1019	2012年1月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
U7 Interview FILE 79	社団法人 学士会 (U7 Vol. 38 頁 : 22-31)	2011年6月
広報・社学連携担当理事に聞く	大阪大学広報・社学連携事務室 (阪大ニュースレター No. 54 頁 : 5-6)	2011年12月
巻頭言「独立自尊」と適塾	大阪大学適塾記念センター (適塾 第44号 頁 : 1-4)	2011年12月

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
産官学連携によるまちの楽しみ創造	豊中市 アクリア文化ホール	2011年 10月15日	豊中市制施行 75周年記念式典
マチカネワニと科学リテラシー	千里阪急ホテル	2011年 10月20日	平成23年度近畿都市教育長協議会研究協議会

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
分子動力学法による亜鉛配位高分子錯体に吸着されたベンゼン分子集団の相転移挙動とダイナミクスに関する研究	日本化学会 第5回関東支部大会〔東京〕	2011年 8月30-31日	口頭発表 連名
配位高分子亜鉛錯体に吸着されたゲスト分子集団の相転移挙動と動的構造	第63回コロイドおよび界面化学討論会〔京都〕	2011年 9月7-9日	口頭発表 連名
分子動力学法による配位高分子亜鉛錯体 IRMOF-1 に吸着されたベンゼン分子集団の相転移挙動と局所構造	第5回分子科学討論会〔札幌〕	2011年 9月20-23日	口頭発表 連名
配位高分子亜鉛錯体に吸着されたベンゼン分子集団の局所構造とその吸着量依存性—分子動力学法による検討—	第25回日本吸着学会研究発表会〔沖縄〕	2011年 11月10-12日	ポスター発表 連名

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
豊中市制施行75周年記念事業・大阪大学総合学術博物館 第13回企画展 大阪大学創立80周年記念展 関連イベント 展覧会開連トークと木下東鶴 講談「手塚治虫物語」	豊中市立 ルシオーレホール	豊中市・ 大阪大学総合 学術博物館	2011年 5月14日
サイエンスカフェ@待兼山 No.72 マチカネワニと出会って	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合 学術博物館	2011年 8月6日
マチカネワニと科学リテラシーの向上	中央電気俱楽部	社団法人 学士会	2012年 2月4日
第6回「化学遺産市民公開講座」 真島利行ウルシオール研究関連資料	慶應義塾大学 日吉キャンパス	公益財団法人 日本化学会	2012年 3月25日

准教授 豊田 二郎

## 【教育活動】

## 担当授業

学期・学部	科目名
1 学期・共通教育科目 [工(電)]	化学概論
1 学期・共通教育科目 [全学部]	実践的博物科学 [共担]
1 学期・共通教育科目 [医(医), 薬]	化学実験 [共担]
1 学期・共通教育科目 [理]	自然科学実験 2 化学 [共担]
1 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーI [共担]
1 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーII [共担]
1 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学(I) [共担]
2 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーI [共担]
2 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーII [共担]

## 【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
サイエンスカフェ@待兼山 No. 88 ホタルの光のひみつ	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2012 年 3 月 10 日

准教授 宮久保 圭祐

## 【教育活動】

担当授業

学期・学部	科目名
1 学期・共通教育科目 [理]	情報活用基礎
1 学期・共通教育科目 [工(理)]	化学実験 [共担]
1 学期・共通教育科目 [全学部]	実践的博物科学 [共担]
1 学期・共通教育科目 [歯, 基(電, 化)]	化学実験 [共担]
1 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーI [共担]
1 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーII [共担]
1 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学(I) [共担]
2 学期・共通教育科目 [理]	基礎化学 2 [共担]
2 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーI [共担]
2 学期・理学研究科博士前期課程 (化)	核磁気共鳴分光学半期セミナーII [共担]

## 【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	巻・号・頁	発行年月
Lateral inhomogeneity of unoccupied states for PbPc films	R. Yamamoto I. Yamamoto M. Mikamori T. Yamada K. Miyakubo T. Munakata	Surface Science	巻：605 号：9-10 頁：982-986	2011年5月
Angle- and Time-Resolved Two-Photon Photoemission Spectroscopy for Unoccupied Levels of Lead Phthalocyanine Film	M. Shibuta K. Miyakubo T. Yamada T. Munakata	Journal of Physical Chemistry C	巻：115 号：39 頁：19269-19273	2011年10月
TiO <sub>2</sub> photocatalyst for degradation of organic compounds in water and air supported on highly hydrophobic FAU zeolite: Structural, sorptive, and photocatalytic studies	Y. Kuwahara J. Aoyama K. Miyakubo T. Eguchi T. Kamegawa K. Mori H. Yamashita	Journal of Catalysis	巻：285 号：1 頁：223-234	2012年1月
<sup>1</sup> H NMR Study of Molecular Motion of Benzene and n-Decane Confined in the Nanocavities of Metal-Organic Frameworks	T. Ueda K. Kurokawa Y. Kawamura K. Miyakubo T. Eguchi	Journal of Physical Chemistry C	巻：116 号：1 頁：1012-1019	2012年1月

著 書

著 書 名	著 者 名	出版社	頁 数	発行年月
物理化学実験法 第5版	監修：千原 秀昭 編集：徂徠 道夫 中澤 康浩 〔執筆分担〕	株式会社 東京化学同人	48-53, 286-292, 208-300	2011年9月

研究（学会）発表など

タ イ ド ル	場 所	年月日	備 考
分子動力学法による亜鉛配位高分子錯体に吸着されたベンゼン分子集団の相転移挙動とダイナミクスに関する研究	日本化学会 第5回関東支部大会〔東京〕	2011年 8月30-31日	口頭発表 連名
配位高分子亜鉛錯体に吸着されたゲスト分子集団の相転移挙動と動的構造	第63回コロイドおよび界面化学討論会〔京都〕	2011年 9月7-9日	口頭発表 連名
分子動力学法による配位高分子亜鉛錯体 IRMOF-1 に吸着されたベンゼン分子集団の相転移挙動と局所構造	第5回分子科学討論会〔札幌〕	2011年 9月20-23日	口頭発表 連名
配位高分子亜鉛錯体に吸着されたベンゼン分子集団の局所構造とその吸着量依存性－分子動力学法による検討－	第25回日本吸着学会 研究発表会〔沖縄〕	2011年 11月10-12日	ポスター発表 連名

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期 間	継続 / 新規
科学研究費補助金：基盤研究(B) [分担金] 配位高分子錯体においてゲスト分子集団が示す協同現象の解明と機能性材料への展開	上田 貴洋	2010- 2011年度	継続
科学研究費補助金：基盤研究(B) [分担金] 薬用資源の文化財分析法を用いた新規標準化インデックスの探索	高橋 京子	2011年度	新規

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講 演 名 ・ 題 目	場 所	主催者名	年月日
夏の小学生科学体験教室 冷やせ！ -195℃の不思議な世界	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合 学術博物館・豊 中市立中央公 民館（とよなか サイエンスネ ット実行委員 会）	2011年 8月10日
移動科学実験教室	大阪大学教育実践セ ンター実験棟I	豊中市教育セ ンター	2011年 8月24日

教授 橋爪 節也

## 【教育活動】

## 担当授業

学期・学部	科目名
1学期・文学部	東洋美術史演習 [共担]
1学期・文学部	日本美術史演習 [共担]
1学期・共通教育科目 [全学部]	実践的博物科学 [共担]
1学期・文学研究科博士前期課程	東洋美術史修士論文作成演習 [共担]
1学期・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習 [共担]
1学期・文学研究科博士後期課程	東洋美術史博士論文作成演習 [共担]
1学期・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習 [共担]
2学期・文学部	東洋美術史演習 [共担]
2学期・文学部	日本美術史講義
2学期・文学部	日本美術史演習
2学期・共通教育科目 [人, 文, 外, 法, 経]	東洋美術史
2学期・文学研究科博士前期課程	東洋美術史修士論文作成演習 [共担]
2学期・文学研究科博士前期課程	日本美術史講義
2学期・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習
2学期・文学研究科博士後期課程	東洋美術史博士論文作成演習 [共担]
2学期・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊講義
2学期・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習
通年・文学部	日本美術史演習(見学演習 1) [共担]
通年・文学部	日本美術史演習(見学演習 2) [共担]
通年・文学部	博物館学(学内実習) [共担]
通年・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習(見学演習 1) [共担]
通年・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習(見学演習 2) [共担]
通年・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習(見学演習 1) [共担]
通年・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習(見学演習 2) [共担]

## 学生指導

学生数(留学生含む)	留学生数	共同・分担した指導教官人数
28名	1名	4名

## 学位論文審査等

学位申請者および論文名	主査 / 副査
[修士論文] 河鍋暁斎筆「地獄極楽めぐり図」研究 — 田鶴如来縁起 —	主査
[修士論文] 1910年～1920年代における水越松南の画風確立期について —明治期の図案表現と大正期の南画的傾向—	主査
[修士論文] 藤田嗣治の壁画制作	副査
[修士論文] 法輪寺の薬師如来像と伝虚空蔵菩薩像をめぐって	副査
[修士論文] 仏功德薄絵経箱に関する一考察 —薄絵技法と意匠をめぐって—	副査

学位申請者および論文名	主査 / 副査
[修士論文] 南宋時代の水陸画について 一儀軌と絵画を手掛かりに—	副査
[博士論文] 木下 京子 池玉瀬研究	副査

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
古美術研究	愛知県立芸術大学	2011年12月

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	巻・号・頁	発行年月
丹平ハウスと洋画家・赤松麟作 一大正末・昭和初期「大大阪」時代のチラシを通じて—	橋爪 節也	文化遺産としての大衆的イメージ—近代日本における視覚文化の美学美術史的研究— 研究成果報告書	頁：255-274	2012年3月

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
大阪の教科書 増補改訂版 大阪検定公式テキスト	橋爪 紳也 監修 創元社編集部 編	株式会社 創元社	頁：210-215	2012年3月
【阪大リーブル033】懐徳堂シリーズ 懐徳堂ゆかりの絵画	奥平 俊六 編著	大阪大学出版会	頁：273-315	2012年4月
なつかしき未来「大阪万博」	大阪大学21世紀懐徳堂 編	株式会社 創元社	頁：32-63 65-159	2012年4月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
おおさかKEY わーど 第12回 “まっちゃまちの四季” —歩く五月人形—	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号：345 頁：3)	2011年4月
おおさかKEY わーど 第13回 “みをつくし”のプライド	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号：346 頁：3)	2011年5月
大しんばん どん字づくし	株式会社 産経新聞社 (産経新聞 浪花おもしろ図鑑)	2011年5月
蒹葭堂と若冲についてある仮説 —「蒹葭堂日記」の行間を深読みすると	醍醐書房 (視覚の現場・四季の綻び 号：9 頁：36-37)	2011年6月
おおさかKEY わーど 第14回 「盛り場をむかしに戻すはしひとつ」	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号：347 頁：3)	2011年6月

タイトル等	報道機関名	報道年月
創作の悪魔を馴する美術家 —森村泰昌と《北野恒富・考》—	株式会社 高島屋美術部 (高島屋創業一八〇周年記念 森村泰昌新作展「絵写真+The KIMONO」カタログ 頁：2)	2011年7月
美術と都市 画家たち奮闘す	雑誌『上方芸能』 (雑誌『上方芸能』 号：181 頁：37-42)	2011年7月
おおさかKEY わーど 第15回 建築物ウクレレ化保存計画 —アートが人の心を癒す—	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並 木」 号：348 頁：3)	2011年7月
大都会で輝く一大ショード	株式会社 産経新聞社 (産経新聞 浪花おもしろ図鑑)	2011年7月
おおさかKEY わーど 第16回 夏休みの宿題？ではなくて… —なにわ“知”的巨人の貝類標本—	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並 木」 号：349 頁：3)	2011年8月
空襲 火の海…残った手引書	株式会社 産経新聞社 (産経新聞 浪花おもしろ図鑑)	2011年8月
「独裁」を主張する政治家の登場と森村泰昌の《なにものかへのレクイエム（独裁者はどこにいる）》	醍醐書房 (視覚の現場・四季の綻び 号： 10 頁：36-37)	2011年9月
おおさかKEY わーど 第17回 “生氣ちまたにみなぎりて、物みな動くなりわいの” 《大阪市歌》を知っていますか？	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並 木」 号：350 頁：3)	2011年9月
三味線に喰われる太夫	株式会社 産経新聞社 (産経新聞 浪花おもしろ図鑑)	2011年9月
近代大阪と女性画家の時代 —第1回 女性の内面を描いた島成園—	財団法人 上方文化芸能協会 (やそしま 号：5 頁：77-107)	2011年10月
おおさかKEY わーど 第18回 街歩きのたのしみ モダン大阪の三大“プラ”って？心プラ☆道プラ☆平プラ	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並 木」 号：351 頁：3)	2011年10月
おめでたい？圧巻のネズミ算	株式会社 産経新聞社 (産経新聞 浪花おもしろ図鑑)	2011年10月
おおさかKEY わーど 第19回 御堂筋の秋—“伝説”的パレードの記憶— 散歩にいきたい黄葉の季節	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並 木」 号：352 頁：3)	2011年11月
品格あるダジャレ合戦	株式会社 産経新聞社 (産経新聞 浪花おもしろ図鑑)	2011年11月
おおさかKEY わーど 第20回 “過去はいつも新しく、未来はつねに懐かしい” 大正100年から平成24年の大阪へ	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並 木」 号：353 頁：3)	2011年12月
亡靈は今も大阪をひょろひょろと？	株式会社 産経新聞社 (産経新聞 浪花おもしろ図鑑)	2011年12月
おおさかKEY わーど 第21回 「われ、幻の大極殿を見たり」 難波宮大極殿発見50年	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並 木」 号：354 頁：3)	2012年1月
おおさかKEY わーど 第22回 「天才画伯・佐伯祐三を思え」 —パリに描く最後の傑作群—	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並 木」 号：355 頁：3)	2012年2月
自虐的大阪人も笑えまへん	株式会社 産経新聞社 (産経新聞 浪花おもしろ図鑑)	2012年2月

タイトル等	報道機関名	報道年月
おおさかKEY わーど 第23回 春風や 堤長うして家遠し 与謝蕪村「春風馬堤曲」	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号:356 頁:3)	2012年3月
「こっくりさん」まるで濡つくし	株式会社 産経新聞社 (産経新聞 浪花おもしろ図鑑)	2012年3月
洋画家小出栄重と石濱純太郎 —石濱宛の小出書簡・葉書を中心として—	大阪大学文学部・大学院文学研究科 研究推進室 (平成23年度文学研究科共同研究 研究成果報告書『石濱文庫の学際的研究—大阪の漢学から世界の東洋学へ—』 頁:9)	2012年3月

#### 学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
美術館博物館委員会からの諸報告	国立新美術館〔東京〕	2011年5月7日	美術史学会 美術館博物館委員会 東西合同シンポジウム WHAT'S NEW? —リニューアルあれこれ—
木村兼葭堂を知っていますか? —“知”の巨人と呼ばれた大阪の町人学者—	大阪科学技術センター	2011年5月27日	一般社団法人 近畿化学協会 第28回通常総会 特別講演会
特別展示資料解説	大阪市立近代美術館 (仮称)心斎橋展示室	2011年6月26日	大正イマジュリィ学会 特別研究会
国際シンポジウム 「ミュージアムとしての大学キャンパス」	名古屋大学	2011年10月22日	科学研究費補助金(基盤研究(B))「大学における『アート・リソース』の活用に関する基礎的研究」

#### 報道

タイトル	場所	年月日	備考
画家たちの目に映った中之島。	月刊島民 中之島 Vol.34	2011年5月1日	発行:月刊中之島プレス
世界第6位“大大阪” 黄金時代 真の姿	毎日新聞	2011年7月12日	おおさか発・プラスアルファトーク&トーク
大阪文化 衰退著しい	産経新聞	2011年10月24日	水都・大阪の祖 安井道頓堀顕彰碑
小松左京氏宅で大阪万博の貴重資料発見	MBSテレビ	2012年3月16日	番組「VOICE」

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続 / 新規
科学研究費補助金：基盤研究(B) [分担金] 文化遺産としての大衆的イメージ —近代日本における視覚文化の美学美術史学的研究—	金田 千秋	2010— 2011 年度	継続

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
豊中市制施行 75 周年記念事業・大阪大学総合学術博物館 第13回企画展 大阪大学創立80周年記念展 関連イベント 展覧会関連トークと木下東鶴 講談「手塚治虫物語」	豊中市立 ルシオーレホール	豊中市・ 大阪大学総合 学術博物館	2011 年 5 月 14 日
文楽座学「大阪画壇と文楽」	国立文楽劇場	特定非営利活 動法人 人形浄 瑠璃文楽座	2011 年 8 月 6 日
サイエンスカフェ@待兼山 No. 74 絵画のなかの近代大阪をどう“読む”か	大阪大学総合学術博 物館 待兼山修学館	大阪大学総合 学術博物館	2011 年 8 月 27 日
[城西国際大学創立 20 周年記念 水田コレクション浮世絵 名品展 四季の風物詩 関連イベント] 近代美人画の個性派—北野恒富とその周辺—	城西国際大学 図書館	城西国際大学 水田美術館	2011 年 10 月 8 日
書物の中に“大大阪”を封印する —モダニズム心斎橋再発見の試み—	大阪歴史博物館	大阪歴史博物 館	2011 年 10 月 29 日
ミュージアムで街は輝きだす —大阪の美術館の歴史と未来—	大阪空港ホテル	豊中市美術協 会	2011 年 11 月 19 日
[第 43 回大阪大学 21 世紀懐徳堂講座大阪大学創立 80 周年 記念スペシャル 芸術する学問。] トーク「オチのない中之島放談」	大阪大学 中之島セン ター	大阪大学 21 世 紀懐徳堂	2011 年 11 月 27 日
柔軟な思考 —アートとサイエンス—	豊中市教育センタ	豊中市教育セ ンター	2011 年 12 月 3 日
大阪大学総合学術博物館と私の研究 絵画の中の近代大阪をどう読むか	豊中市立中央公民館	豊中市立中央 公民館	2011 年 12 月 16 日
[ひさしぶりにもどりまし展 一丸萬本家リターンズ— トークライブ] モダン道頓堀探検 —アートでいく近代大阪の街	諸国漫遊 いちびり庵	道頓堀・丸萬展 実行委員会	2012 年 3 月 10 日
[アート de すみ博 2012 ~日本画が伝える住吉の美術風土 ～ 住吉の美術パワー発見！] 住吉と日本画 …大阪の日本画家の活躍	大阪市立 住吉区民セ ンター	すみよし博覽 会実行委員 大阪市住吉区 役所	2012 年 3 月 17 日
[アート de すみ博 2012 ~日本画が伝える住吉の美術風土 ～ 住吉の美術パワー発見！] 住吉にゆかりのある日本画家と住吉の美術風土	大阪市立 住吉区民セ ンター	すみよし博覽 会実行委員 大阪市住吉区 役所	2012 年 3 月 17 日
[吹田市立博物館 ≪小松左京写真展—宇宙に翔く夢—≫ 関連イベント 講演会] アートよもやま話 “20 世紀少年” は私かも —第五回国勧業博覧会から EXPO' 70 へ—	吹田市立美術館	吹田市立美術 館	2012 年 3 月 24 日

助教 横田 洋

## 【教育活動】

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
アジアの映画と演劇	大手前大学	2011年10月— 2012年3月

## 【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	巻・号・頁	発行年月
山長から澤正へ —大正期の道頓堀と新興の演劇—	横田 洋	雑誌『上方芸能』	号：181 頁：17-20	2011年7月
演劇類似の系譜 —浅草公園六区の芸能と映画—	横田 洋	近現代演劇研究会紀要『近現代演劇研究』	号：3 頁：41-54	2011年10月
近代的芸術観と連鎖劇	横田 洋	日本伝統音楽研究センター研究報告	号：8 頁：86-99	2012年3月

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
女優中村歌扇の軌跡 —映画・演劇・見世物とその交点—	早稲田大学 演劇映像学連携研究拠点 研究会 〔東京〕	2011年 7月19日	公募研究課題 「無声映画の フィルムとテ クストの対照 にもとづく相 互的同定研究」

## 【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続／新規
科学研究費補助金：若手研究(B) 連鎖劇における映画・演劇相互の関係性についての総合的研究	横田 洋	2009— 2011年度	継続

助教 松永 和浩

## 【教育活動】

担当授業

学期・学部	科目名
1学期・共通教育科目 [全学部]	実践的博物科学 [共担]
通年・文学部	博物館学(学内実習) [共担]
通年・文学部	博物館学(館園実習) [共担]

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
人間と文化C(国際交流史 I)	帝塚山大学 経済学部	2011年4-8月
人間と文化D(国際交流史 II)	帝塚山大学 経済学部	2011年9月- 2012年3月
2年生学問理解ガイドンス	大阪市立東高等学校	2011年10月

## 【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	巻・号・頁	発行年月
室町期伊賀国の秩序と諸勢力	松永 和浩	史敏	号：9 頁：29-59	2011年10月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
石濱文庫未整理資料の現状と整理方針について	大阪大学文学部・大学院文学研究科 研究推進室 (平成23年度文学研究科共同研究 研究成果報告書『石濱文庫の学際的研究—大阪の漢学から世界の東洋学へ—』 頁：15)	2012年3月

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
市沢哲氏の14世紀史研究をめぐって	大阪歴史科学協議会 〔大阪〕	2012年 3月11日	3月例会 報告

## 【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続／新規
科学研究費補助金：研究活動スタート支援 中世後期公家社会の構造的特質と室町殿の「公家化」に関する基礎的研究	松永 和浩	2010- 2011年度	継続

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
夏の小学生科学体験教室 「豊中」の誕生－地名の由来を調べてみよう－	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館・豊中市立中央公民館（とよなかサイエンスネット実行委員会）	2011年 8月9日
サイエンスカフェ@待兼山 No.80 日本中世の人々と災害	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2011年 10月22日



## 6. 資料

### 掲載項目

- ・2011年度の主な活動一覧
- ・入館者数及びアンケート集計結果一覧
- ・団体見学一覧
- ・受賞・表彰等一覧
- ・関連記事一覧
- ・寄贈図書一覧
- ・館内配置図

# 2011年度の主な活動一覧

期 間	主 な 活 動
2011年	
4月28日～6月30日	第13回企画展「阪大生・手塚治虫 ー医師か？マンガ家か？ー」（豊中市制施行75周年記念事業・大阪大学創立80周年記念展）を開催した。（共催：大阪大学大学院医学系研究科、豊中市、豊中市教育委員会 協力：手塚プロダクション、大阪大学21世紀懐徳堂 後援：朝日新聞社）
4月30日	ミュージアム・レクチャー第32回「二人以上の手塚治虫～現役科学者から見た手塚の不思議～」を開催した。（講師：大阪大学工学部応用自然学科 斎藤彰准教授）
5月1日～5月31日	「光明皇后発願 出曜経 卷第四」断簡および長岡半太郎遺墨の一般公開を行った。（場所：大阪大学会館 歴史展示室）長岡半太郎遺墨は12月21日まで公開。
5月3日	ミュージアム・レクチャー第33回「父親としての手塚治虫」を開催した。（講師：手塚治虫長女・プランニングプロデューサー 手塚るみ子氏）
5月14日	大阪大学創立80周年記念展の関連イベントとして、第13回企画展関連トークと木下東鶴講談「手塚治虫物語」が開催された。（場所：豊中市立ルシオーレホール）
5月15日	畠田家住宅活用保存会主催、羽曳野市・羽曳野市教育委員会後援、大阪大学総合学術博物館協賛で第14回畠田塾が開催された。（場所：国の登録文化財 畠田家住宅）
5月28日	ミュージアム・レクチャー第34回「手塚治虫のマンガ・アニメーションの歴史的位置」を開催した。（講師：手塚プロダクション著作権事業局 局長 清水義裕氏）
6月4日	ミュージアム・レクチャー第35回「大阪大学医学部：来し方を振り返り、未来を想う」を開催した。（講師：大阪大学前医学部長 平野俊夫教授）
6月18日	サイエンスカフェ@待兼山No.66「私たちの体の中にある幹細胞」を開催した。（講師：大阪大学大学院理学研究科 井上明男准教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂）
6月25日	サイエンスカフェ@待兼山No.67「身近なエントロピー」を開催した。（講師：大阪大学大学院理学研究科 稲葉章教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂）
7月2日	サイエンスカフェ@待兼山No.68「飛鳥の木簡を読んでみよう」を開催した。（講師：大阪大学大学院文学研究科 市大樹准教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂）
7月7日	全国同時七夕講演会大阪大学講演が待兼山修学館セミナー室で開催された。この行事は日本天文学会と天文教育普及研究会による企画で、大阪大学講演は大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻と総合学術博物館との共催で行われた。
7月9日	サイエンスカフェ@待兼山No.69「漢方最『後』端！？－『温故知新』古文書から見えること－」を開催した。（講師：大阪大学大学院薬学研究科 島田佳代子氏 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂）
7月16日	サイエンスカフェ@待兼山No.70「ナノ炭素分子とノーベル賞」を開催した。（講師：大阪大学大学院基礎工学研究科 白石誠司教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂）
7月30日	サイエンスカフェ@待兼山No.71「はやぶさサンプルを分析する」を開催した。（講師：大阪大学大学院理学研究科 土山明教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂）
8月6日	サイエンスカフェ@待兼山No.72「マチカネワニと出会って」を開催した。（講師：大阪大学総合学術博物館 江口太郎教授（当時総合学術博物館長） 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂）
8月9日	豊中市立中央公民館（とよなかサイエンスネット実行委員会）と総合学術博物館主催で「夏の小学生科学体験教室」を行った。1日目は「[豊中]の誕生ー地名の由来を調べてみよう」というタイトルで授業を行った。（講師：大阪大学総合学術博物館 松永和浩助教）

期 間	主 な 活 動
8月10日	「夏の小学生科学体験教室」2日目は「冷やせ！－195℃の不思議な世界」というタイトルで授業を行った。(講師：大阪大学総合学術博物館 宮久保圭祐准教授)
8月11日	「夏の小学生科学体験教室」3日目は「氷の中に花が咲く？～チンダル像の観察～」というタイトルで授業を行った。(講師：大阪大学大学院理学研究科 谷篤史助教)
8月12日	「夏の小学生科学体験教室」最終日は「回転運動であそぼう」というタイトルで授業を行った。(講師：大阪大学大学院理学研究科 藤田佳孝准教授)
8月20日	サイエンスカフェ@待兼山No.73「和古書における“お宝”の見つけ方」を開催した。(講師：大阪大学大学院文学研究科 合山林太郎講師 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
8月27日	サイエンスカフェ@待兼山No.74「絵画のなかの近代大阪をどう“読む”か」を開催した。(講師：大阪大学総合学術博物館 橋爪節也館長 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
9月3日	サイエンスカフェ@待兼山No.75「形が違えば意味も違う？」を開催した。(講師：大阪大学大学院文学研究科 岡田禎之教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
9月10日	サイエンスカフェ@待兼山No.76「一般相対性理論入門」を開催した。(講師：大阪大学 東島清理事 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
9月27日	大阪大学総合学術博物館所有の「大阪大学第一号磁界型電子顕微鏡」が重要科学技術史資料に登録された。(認定：国立科学博物館)
10月1日	サイエンスカフェ@待兼山No.77「生命の仕組みを探る 一いのちの統合的理解を目指す分野の垣根を越えた総力戦－」を開催した。(講師：大阪大学大学院基礎工学研究科 野村泰伸教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
10月8日	サイエンスカフェ@待兼山No.78「コーヒーカップのミルクはなぜ混ざる？ 一流体混合の不思議－」を開催した。(講師：大阪大学大学院基礎工学研究科 井上義朗教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
10月15日	サイエンスカフェ@待兼山No.79「頼りになる薬剤師：『くすりのいろは』教えます！」を開催した。(講師：大阪大学大学院薬学研究科 中村勇斗氏 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
10月15日～11月19日 (毎週土曜日)	総合学術博物館湯川記念室主催の高校生を対象とした行事「最先端の物理を高校生に Saturday Afternoon Physics 2011」が6回に分けて行われた。
10月22日	サイエンスカフェ@待兼山No.80「日本中世の人々と災害」を開催した。(講師：大阪大学総合学術博物館 松永和浩助教 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
10月25日～2月4日	第14回企画展「脳の中の「わたし」と情報の中の<私> 一五感を揺るがす魔訶不思議なメディア技術－」を開催した。(協賛：情報通信研究機構(NICT) 協力：大阪大学大学院医学系研究科、大阪大学 21世紀懐徳堂)
11月3日	ワークショップ「心臓ピクニック」を開催した。(講師：慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所特任講師 坂倉杏介氏、大阪大学大学院情報科学研究科 安藤英由樹准教授)
11月12日	ミュージアム・レクチャー第36回「生物に学ぶ情報学」を開催した。(講師：情報通信研究機構理事長・元大阪大学総長 宮原秀夫氏)
11月19日	ミュージアム・レクチャー第37回「脳が世界を見る～わたしが知らないうちに」を開催した。(講師：大阪大学大学院生命機能研究科 藤田一郎教授)
11月26日	ミュージアム・レクチャー第38回「ゆらぎが脳をひらめかす」を開催した。(講師：大阪大学大学院生命機能研究科 柳田敏雄特任教授)
12月3日	ワークショップ「文章の読み跡」を開催した。(講師：NTTコミュニケーション科学基礎研究所 丸谷和史氏、渡邊淳司氏、大阪大学大学院情報科学研究科 安藤英由樹准教授)

期 間	主 な 活 動
12月24日	サイエンスカフェ@待兼山No.81 「タンポポが教えてくれること～「タンポポを通して人間と環境の関係を考える」」を開催した。(講師：大阪大学大学院薬学研究科 近藤小百合氏 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
2012年	
1月7日	サイエンスカフェ@待兼山No.82 「ニュースの作り方」を開催した。(講師：大阪大学大学院文学研究科 田村恒憲氏 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
1月14日	ミュージアム・レクチャー第39回 「「わたし」を知るためのメディア技術」を開催した。(講師：NTTコミュニケーション科学基礎研究所 渡邊淳司氏)
1月21日	ミュージアム・レクチャー第40回 「(人間の法則+物理の法則)÷2」を開催した。(講師：国際メディア研究財団研究員 藤木淳氏)
1月28日	サイエンスカフェ@待兼山No.83 「南部理論と小林・益川理論」を開催した。(講師：大阪大学大学院理学研究科 波場直之准教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
2月4日	サイエンスカフェ@待兼山No.84 「和の色のガラスをつくる」を開催した。(講師：富山大学 金森寛教授、富山ガラス工房 野田雄一館長 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
2月18日	サイエンスカフェ@待兼山No.85 「「石」のはなし—遠くて近いもの」を開催した。(講師：大阪大学総合学術博物館 伊藤謙研究支援推進員 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
2月24日	江口太郎先生最終講義「分子からマチカネワニへ旅して」を開催した。(講師：大阪大学大学院理学研究科 江口太郎教授（当時大阪大学理事・副学長） 場所：大阪大学会館 講堂)
2月25日	サイエンスカフェ@待兼山No.86 「知っておきたい生薬の基礎～同じようで違うもの～」を開催した。(講師：大阪大学大学院薬学研究科 東由子特任研究員 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
3月3日	サイエンスカフェ@待兼山No.87 「液晶をたのしもう」を開催した。(講師：大阪大学大学院理学研究科 久保孝史教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
3月10日	サイエンスカフェ@待兼山 No.88 「ホタルの光のひみつ」を開催した。(講師：大阪大学総合学術博物館 豊田二郎准教授 共催：とよなかサイエンスネット実行委員会 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂)
3月25日	畠田家住宅活用保存会主催、羽曳野市・羽曳野市教育委員会後援、大阪大学総合学術博物館協賛で第15回畠田塾が開催された。(場所：国の登録文化財 畠田家住宅)
3月26日	大阪大学総合学術博物館所有の「眞島利行ウルシオール研究関連資料」が認定化学遺産第011号に登録された。(認定：日本化学会)

# 入館者数及びアンケート集計結果一覧

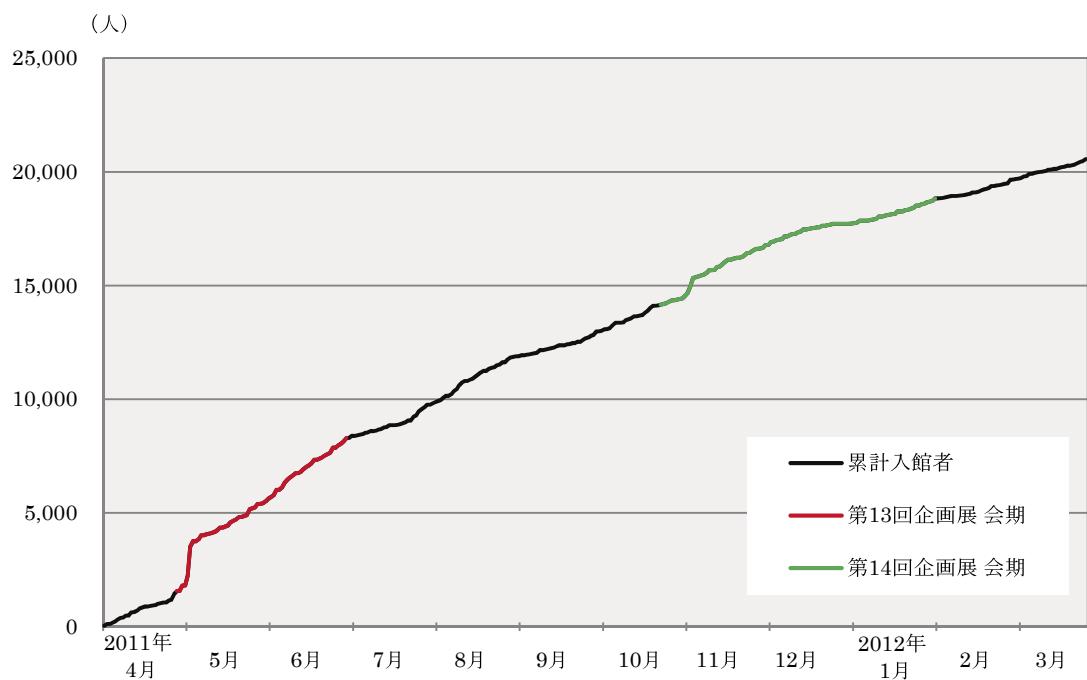
- ・2011年度大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 入館者数

第13回企画展 会期  
4月28日(木)～6月30日(木)  
入館者数：6,831人

第14回企画展 会期  
10月25日(火)～2012年2月4日(土)  
入館者数：4,710人

休館日：日曜・祝日  
年末年始（12月29日～1月3日）  
ただし、特別開館日有

(単位：人)	
	入館者数
2011年4月	1,806
5月	3,702
6月	2,775
7月	1,469
8月	2,116
9月	970
10月	1,549
11月	2,226
12月	1,099
2012年1月	896
2月	839
3月	1,111
合計	20,558



※以下の内容のアンケートを実施した。

## 大阪大学総合学術博物館－待兼山修学館 アンケート

本日はご来館いただき誠にありがとうございます。今後の参考のため、皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。以下の項目の該当する欄にチェック  をつけてください。

- 来館日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( )
- 年齢  10代未満  10代  20代  30代  40代  
 50代  60代  70代以上
- 住所  大阪府  京都府  兵庫県  奈良県  和歌山県  滋賀県  
 その他 ( )
- 学年  小学生未満  小学生  中学生  高校生  大学生・大学院生（阪大）  
 大学生・大学院生（阪大以外）  専門学校生  一般 ( )

- ・ 大阪大学総合学術博物館－待兼山修学館についてお尋ねします。

Q 1 どのようにして当館をお知りになりましたか？（複数可）

- 通りがかり  パンフレット  ホームページ  ガイドブック等  
 友人・知人より  その他 ( )

Q 2 どの展示ゾーンが面白かったですか？（複数可）

- 1階  玄関ホールのマチカネワニ  世界にはばたく研究者  
 コンピュータの黎明期
- 2階  大阪大学の系譜  みる科学
- 3階  待兼山に学ぶ
- R階  自然教室  
 その他 ( )

Q 3 来館は何回目ですか？

- はじめて  2回目  3回目  4回目以上

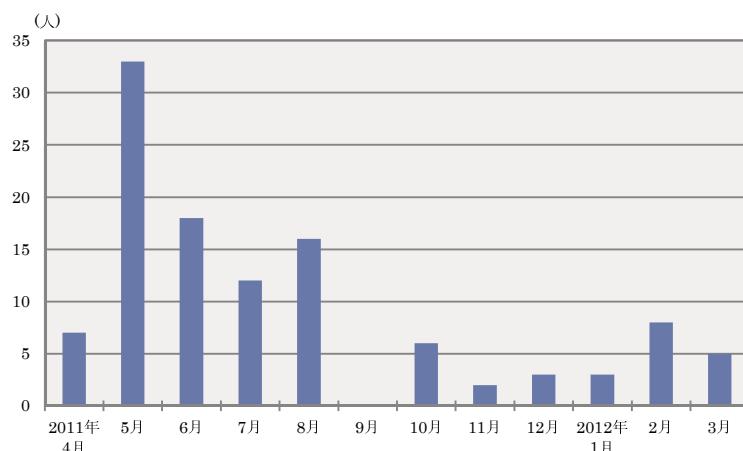
Q 4 その他ご意見・ご感想などを書き下さい。

アンケートにお答え頂きありがとうございました。

貴重なご意見・ご感想などを今後の総合学術博物館発展のため、参考とさせて頂きます。

## ・アンケート集計結果

### ◆ アンケート回答総数

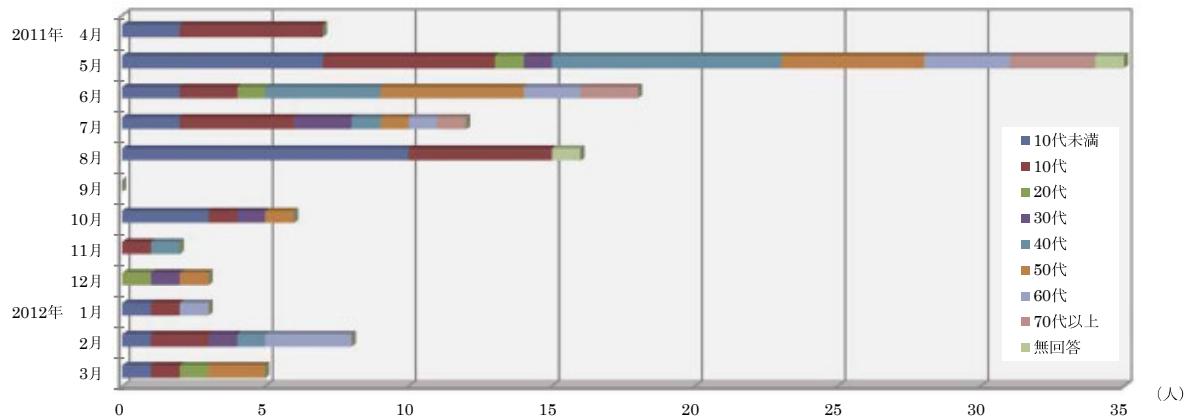


(単位：人)	
2011年4月	7
5月	33
6月	18
7月	12
8月	16
9月	0
10月	6
11月	2
12月	3
2012年1月	3
2月	8
3月	5
合計	113

### ■ 年齢分布

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
2011年4月	2	5	0	0	0	0	0	0	0
5月	7	6	1	1	8	5	3	3	1
6月	2	2	1	0	4	5	2	2	0
7月	2	4	0	2	1	1	1	1	0
8月	10	5	0	0	0	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	3	1	0	1	0	1	0	0	0
11月	0	1	0	0	1	0	0	0	0
12月	0	0	1	1	0	1	0	0	0
2012年1月	1	1	0	0	0	0	1	0	0
2月	1	2	0	1	1	0	3	0	0
3月	1	1	1	0	0	2	0	0	0
合計	29	28	4	6	15	15	10	6	2

※重複回答有

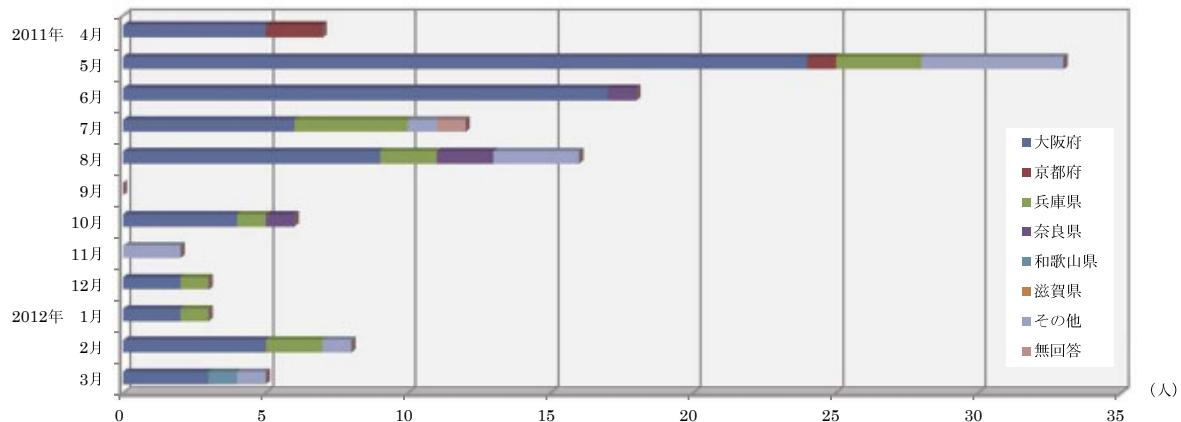


## ■ 住所分布

(単位：人)

	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	滋賀県	その他	無回答
2011年4月	5	2	0	0	0	0	0	0
5月	24	1	3	0	0	0	5	0
6月	17	0	0	1	0	0	0	0
7月	6	0	4	0	0	0	1	1
8月	9	0	2	2	0	0	3	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	4	0	1	1	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	2	0
12月	2	0	1	0	0	0	0	0
2012年1月	2	0	1	0	0	0	0	0
2月	5	0	2	0	0	0	1	0
3月	3	0	0	0	1	0	1	0
合計	77	3	14	4	1	0	13	1

※重複回答有



## ● その他 内訳

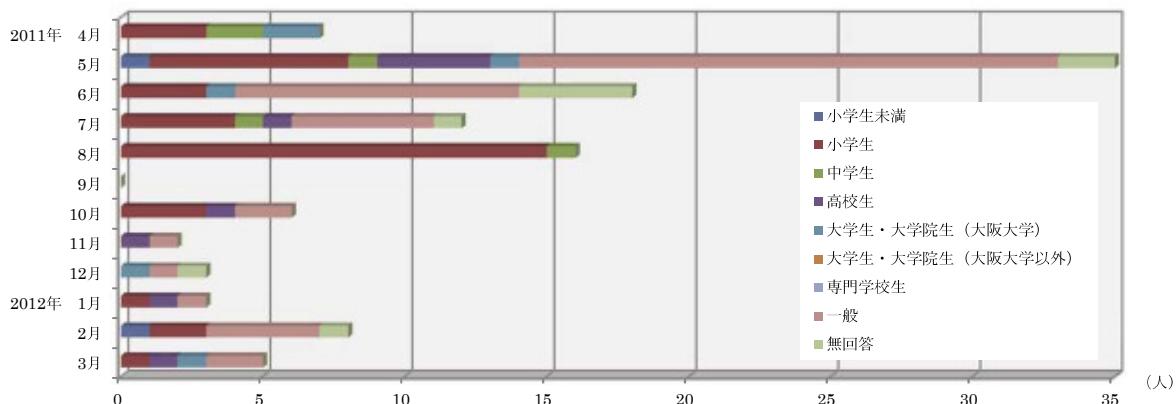
- |          |      |      |      |      |
|----------|------|------|------|------|
| 5月       | 8月   | 11月  | 2月   | 3月   |
| ・静岡県     | ・東京都 | ・鹿児島 | ・愛媛県 | ・東京都 |
| ・茨城県     | ・福岡県 | ・東京  |      |      |
| ・千葉県千葉市  |      |      |      |      |
| ・川西市     |      |      |      |      |
| ・神奈川県横浜市 |      |      |      |      |

## ■ 入館者学年分布

(単位：人)

	小学生未満	小学生	中学生	高校生	大学生・大学院生（大阪大学）	大学生・大学院生（大阪大学以外）	専門学校生	一般	無回答
2011年 4月	0	3	2	0	2	0	0	0	0
5月	1	7	1	4	1	0	0	19	2
6月	0	3	0	0	1	0	0	10	4
7月	0	4	1	1	0	0	0	5	1
8月	0	15	1	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	3	0	1	0	0	0	2	0
11月	0	0	0	1	0	0	0	1	0
12月	0	0	0	0	1	0	0	1	1
2012年 1月	0	1	0	1	0	0	0	1	0
2月	1	2	0	0	0	0	0	4	1
3月	0	1	0	1	1	0	0	2	0
合計	2	39	5	9	6	0	0	45	9

※重複回答有



## ● 一般 内訳

- 5月
  - ・主婦
  - ・会社員（2件）
  - ・卒業生
  - ・科目等履修生

- 6月
  - ・主婦

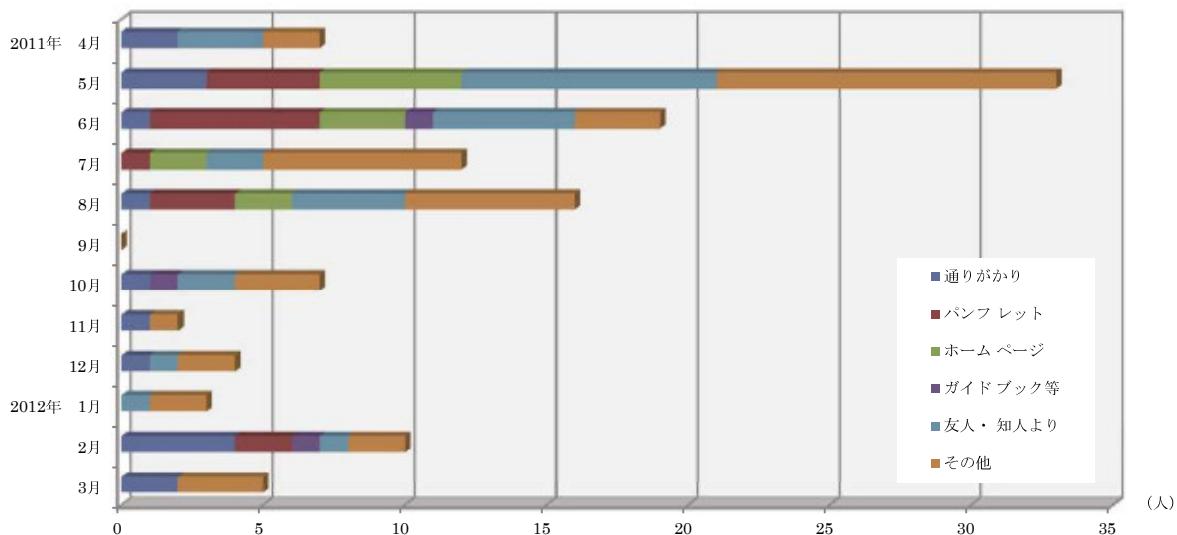
- 2月
  - ・無
  - ・教員

■ 大阪大学総合学術博物館 — 待兼山修学館についてお尋ねします。

Q1 どのようにして当館をお知りになりましたか? (複数可)

(単位:人)

	通りがかり	パンフレット	ホームページ	ガイドブック等	友人・知人より	その他
2011年4月	2	0	0	0	3	2
5月	3	4	5	0	9	12
6月	1	6	3	1	5	3
7月	0	1	2	0	2	7
8月	1	3	2	0	4	6
9月	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	1	2	3
11月	1	0	0	0	0	1
12月	1	0	0	0	1	2
2012年1月	0	0	0	0	1	2
2月	4	2	0	1	1	2
3月	2	0	0	0	0	3
合計	16	16	12	3	28	43



● その他 内訳

4月  
・お父さんより (2件)

5月  
・手塚治虫記念館←宝塚  
・新聞(2件)  
・朝日新聞 (2件)  
・阪大卒業生に送られる冊子  
・阪大内  
・手塚先生のイベント  
・治虫本人より

6月  
・主人が手塚ファンで関係==よ  
り※一部判読不明  
・特別展のチラシ  
・娘から

7月  
・ちらし  
・学校で  
・新聞  
・消防設備士受験

8月  
・大阪市から  
・はんだい生にきいた。  
・実験教室  
・とよなかしこうを  
・じゅくのツアー (2件)

10月  
・学校  
・家族より

11月  
・旅行

12月  
・阪大内においてあったチラシ  
・大学に来て知りました。

1月  
・学校  
・山の家

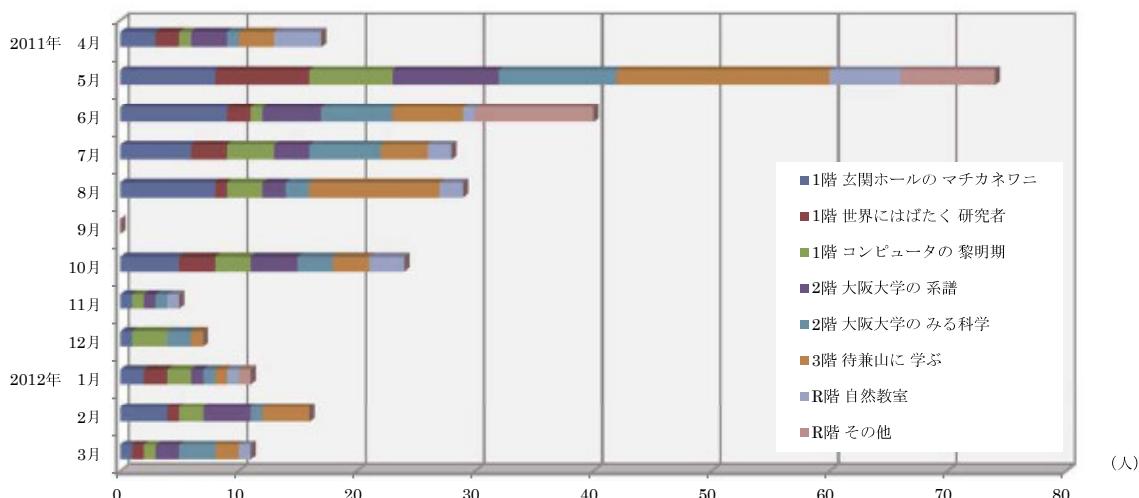
2月  
・関西茶話会 (学士会)

3月  
・母のお仕事

Q2 どの展示ゾーンが面白かったですか？（複数可）

(単位：人)

	1階			2階		3階	R階	その他
	玄関ホールのマチカネワニ	世界にはばたく研究者	コンピュータの黎明期	大阪大学の系譜	みる科学	待兼山に学ぶ	自然教室	
2011年4月	3	2	1	3	1	3	4	0
5月	8	8	7	9	10	18	6	8
6月	9	2	1	5	6	6	1	10
7月	6	3	4	3	6	4	2	0
8月	8	1	3	2	2	11	2	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	5	3	3	4	3	3	3	0
11月	1	0	1	1	1	0	1	0
12月	1	0	3	0	2	1	0	0
2012年1月	2	2	2	1	1	1	1	1
2月	4	1	2	4	1	4	0	0
3月	1	1	1	2	3	2	1	0
合計	48	23	28	34	36	53	21	19



● その他 内訳

4月

- ・全部

5月

- ・阪大生・手塚治虫とレクチャー「父としての手塚治虫」
- ・手塚治虫展（2件）
- ・「阪大生・手塚治虫」展
- ・3F 手塚治虫展
- ・「阪大生・手塚治虫」特別展
- ・マンガコーナー

6月

- ・手づか治虫
- ・講演会
- ・手塚治虫
- ・手塚治虫展
- ・特別展
- ・手塚さんのん
- ・阪大生・手塚治虫
- ・手塚治虫・阪大生
- ・手塚先生の展示物全て！！書ききれない・・・とにかく全部！！！
- ・記念展示

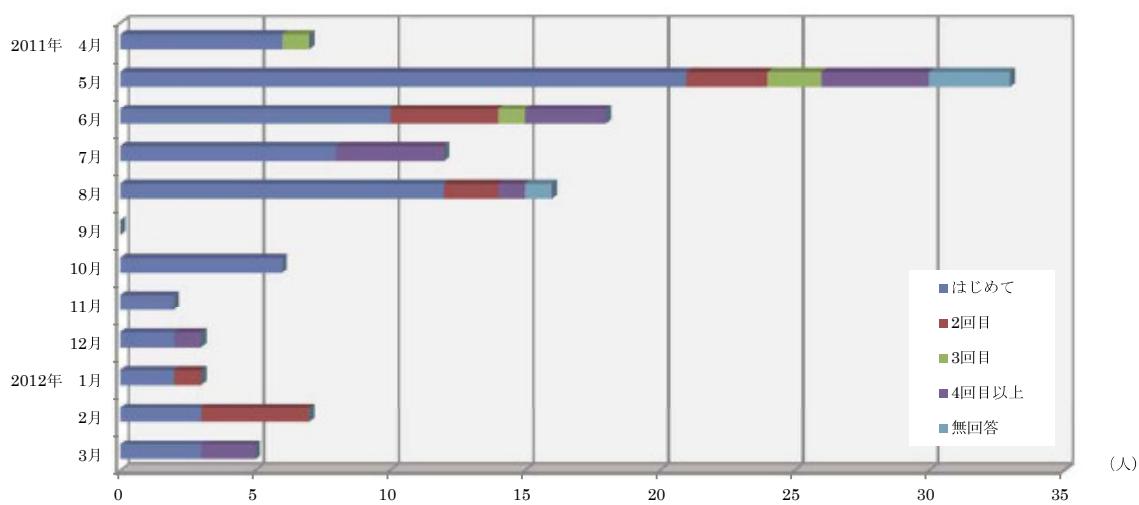
1月

- ・ゲーム

Q3 来館は何回目ですか？

(単位：人)

	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	無回答
2011年 4月	6	0	1	0	0
5月	21	3	2	4	3
6月	10	4	1	3	0
7月	8	0	0	4	0
8月	12	2	0	1	1
9月	0	0	0	0	0
10月	6	0	0	0	0
11月	2	0	0	0	0
12月	2	0	0	1	0
2012年 1月	2	1	0	0	0
2月	3	4	0	0	0
3月	3	0	0	2	0
合計	75	14	4	15	4



#### Q4 その他ご意見・ご感想などを書きください。

◎ アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。※部のコメントは内容を補足するために付加。

- 4月
  - ・ 楽しかった。また行きたい！
  - ・ すごかったです！！
  - ・ なんにもない。
  - ・ ものすごくよかったです！また来たいです！
  - ・ 大きかった※ワニイラスト有
  - ・ マチカネワニに遭遇したら大変だと思いました。
  - ・ 電気代が無駄だと思った。セキュリティ能力が異常に高かった
- 5月
  - ・ 何度も来て DM もいただいていますが 今回はいちょう祭を兼ねて手塚展を見にきました。手塚のバックボーン「阪神間の文化」と共に、当時の大学の「自由な空気」についても述べられていましたが、80 年代に学生（文）だった私も好きなように学生生活を送らせてもらったことには今でも感謝しています。GPA などというくだらない物なく、「興味を持てるかな？」という講義はどんどん取ってどんどん捨てた中から、今の私の精神の支柱が形成されていると感じます。
  - ・ 歴史がわかりました。
  - ・ v 手塚治の特別展 v 大変な偉人です。 v 全国的に、知らせたい。（この様な催し）※vはチェック記号
  - ・ 見ごたえあり、良かった 息子がお世話になっているので来てみました。
  - ・ 「手塚治虫」展大変興味深く拝見しました。
  - ・ 常設展示の「世界にはばたく研究者」ですが、湯川秀樹博士のところには、ぜひとも以下の著書からの詩文を展示して下さい。1948 年（昭和 23 年）刊行の「原子と人間」という著書の同名の詩文です。「ヒモツキの御用学者」には読ませてあげたい内容です。阪大発で世界中の科学者にも拡散してほしいです。
  - ・ おもったより大きかった！マチカネワニ※ワニイラスト有
  - ・ たのしかった。マチカネわに※ワニイラスト有
  - ・ 手塚治虫展を知って、卒後初めて 26 年ぶりに待兼山に来てみました。展示も興味深くみさせて頂きました！懐かしかったです。
  - ・ みるかがくのみるのがたのしかったです。またきたいです。
  - ・ 「みる科学」がたのしかったです。たのしいし、べんきょうになったのでよかったです。また、見てみたいです。「みる科学」の、けんびきょうでみるのが、おもしろかったです。
  - ・ 立派なミュージアムで感心しました。多くの方に知って頂きたいと思いました。昨秋のアルピジェラでキュレーターの方が解説して下さって とても印象的でしたが、今春映画「アレクサンドリア」の監督であるアレハンドロ・アメナーバル氏がちょうどアルピジェラ運動のころのチリで少年期をすごされた方で映画のテーマの 1 つである女性による暴力への抵抗の原点だったのかかもしれない感じ、関連性が想像され、一層ミュージアムの意義を感じました。
  - ・ 受付の方の笑顔がステキでした。屋上も気持ちよかったです。建物もいいですね。←私が通ってたころの小学校と床、カベなど似ています。講座、ワークショップの案内ビラがあると嬉しいです。楽しかったです。有難うございました。
  - ・ 再度よせていただきます。本日は手塚治虫が目的でした。
  - ・ 私の母校（北野高校）の先輩、手塚さんを、敬愛するファンとして、このような特別展（内容は、すでに充分、知っていますが…）は、嬉しいです！！
  - ・ 「阪大生、手塚治虫 記念展」が大変素晴らしかった。阪大時代、ありあふれる才能を開花していく、だれにも真似できない人生が、私達にとてつもない刺激と勇気を与えてくれました。
  - ・ またきます※ハートマーク記入
  - ・ きょうは、たのしかったです。また、きます！※笑顔のイラスト有
  - ・ 高校時代にワニの存在も、学祭にもきました あまりにおしゃれになりすぎておどろいきました 久しぶりの休み、イベントも cafe も楽しめました 鷺田総長になられてますます変わった阪大楽しみにしています。又、きます。
  - ・ わにすごかった！！行けるもんなら、阪大行きたい！
  - ・ すごくよかったです
  - ・ 毎回 10 部ずつ郵送を以前からお願いしていたのですが今回の展示の案内が届きませんでした 次回からよろしくお願い申し上げます。

- ・ 良かったです。また来たいと思います。カフェもおいしかったです。
- ・ 特別展、楽しく見させていただきました。
- ・ 本日図書館が休みだったので、3時間目と5時間目の空き時間にはじめてきました。図書館休館日の空き時間に来るのにはちょうどいい。ぐれぐれもこここの休館日と図書館の休館日を同じ日にしないように機会があったらまた来ます。

● 6月

- ・ 楽しかった くさ花をみれてよかったです。
- ・ ①駅から近いこの地は来館者に便利、上まで上るとつかれます。この地の催物があるときの案内板の位置を考えてほしい。（間違えて上まで上ってしまう。）②この付近にもっと多くの施設がほしい③博物館に出来れば美術品の所蔵・展示できれば理想 購入予算なければ寄付してもらう等の工夫が必要。（阪大出身者の美術、工芸、写真、や何かの創作物作品や所蔵品を募る）④国立大学でも地域貢献してほしいこれが逆に研究その他の大学のレベルアップにつながると思う⑤何とか大学の芸術学部がほしい
- ・ 私が来館の主たる目的は「ドクトル、メディチーネ」「お雇い外国人」に載って居ます。の銅像を一目見たくて来て居ます。前回 館の事務職員に伺いましたが見当らぬとの由、今回、「医学の来し方～」の講演で阪大医療の歴史に大きく関与している“氏”ドクトルメディチーネの銅像の手掛けを知りたくて来ましたが平野先生もご存知ないとの由、残念です。「氏」（ドクトルメディチーネ）は、私の母がのどに出来た“病”に治療に関して下さったとの由で、一目像に=お顔拝願と思い探して居ます。私事で恐縮ですが私の母は緒方洪庵と実家が遠戚に当り母の先祖に淀城の御殿医を勤めていた曾祖父の前の医者を先祖に持つ家系で以前は「緒方惟義」の子孫になると言うことで、代々、外科医から現在産婦人科の緒方家とも遠戚になるとの由で（淀屋橋 現適塾）にも関与している由！私も産婦人科のお世話になりましたが 高齢出産の為 阪大にも行きましたが子供に恵まれませんでした。以上（愚=）愚言を呈しましたが何か手掛けがつかめましたら是非教えて下さい！下記住所まで宜しく願い上げます※「」部は判読不明
- ・ 東北大震災で被災された子供達が手塚さんの作品にふれる機会があればと思います。手塚さんが存命であればきっと現地へ行かれたでしょう。
- ・ また友人といきたいです。マチオカネワニがものすごくすごかった「世界にはばたく研究者」がおもしろかったです ほかにもいろいろおもしろいものをてんじしてください。
- ・ 玄関ホールのマチカネワニがはく力があつて「すごいなあ～」と思いました。ほかにも『みる科学』がおもしろかったです。ほかにもいろんなてんじ品などを置いてください！
- ・ 建物もステキでびっくりしました。ゆっくり落ちついて時を過ごし、幸せな一日でした。ありがとうございました。
- ・ 何かとてもよかったです
- ・ 企画展の告知方法を教えて下さい。
- ・ いろいろ今日は、けんびきょうを見せてもらったり、おくじょうで外をながめたりするのもたのしかったです。大きくなったら、大きめに大学に来たいです。
- ・ 企画展とてもおもしろかったです。
- ・ 無料で展示を充実しているのが良い。上記企画展※第13回企画展の図録を出してほしい。
- ・ すごく楽しかったです。写真とりたかった… 自分の知らない手塚先生のルーツみたいなもの少しがいまみえて、感動しました。大好きなリボンの騎士が宝塚に影響されていたことも知ることが出来 感動。（ちなみに24色のリボンの騎士の色えんぴつをものすごく大事に使っていました）
- ・ 3階、手塚展をしてたのと別の部屋でコンピラ山古墳の表示 奈良県高田市とありましたが 正しくは大和高田市だと思います 陸前高田市も「高田市」でした。
- ・ 手塚治虫先生が好きで、今回来させてもらいました。あの展示も興味深かったです。ありがとうございました。

● 7月

- ・ いつも美しくされていてうれしいです。アカデミックな雰囲気が好きです
- ・ おもしろかったです
- ・ ほねとか、色々、ふだんでは見れない物までおいてあるので、すごいと思いました。
- ・ 以前から訪問したくて始めてきました。ストーリー性があるので、見学しやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 生徒たちと利用させていただきました。ありがとうございました。
- ・ 店内にうちわを用意した方が良いと思いました。夏はとても暑くなるので、そう思いました。すごくおもしろかったので、また来たいと思いました。

- ・ 知らなかつたことが多く、興味深くみました。
- ・ サイエンスカフェのいっぽんそうたい性理論とうせんさせてください。
- ・ 時間が足りなくて、もっと見たいと思いますが次回にします。

● 8月

- ・ カフェのラスクがおいしかった！
- ・ すごく心に残りました。Rは、まだ見ていませんが、つぎにきたときはみたいですね。楽しみです。
- ・ マチカネワニがおもしろかった
- ・ とてもたのしかったです。
- ・ 楽しい
- ・ マチカネワニが、こんなに大きいとは、びっくりしました。またくるっかも
- ・ すっごい<sup>※ハートマーク3つ記入</sup>マチカネワニって、よくけんかしたんですね！
- ・ すごい！
- ・ 楽しかった。
- ・ おもしろかった

● 10月

- ・ 楽しかったのでまた来たいです。
- ・ コンピューターが楽しかったです。また、きたいです
- ・ きれいなしせつで、またきたいと思いました。
- ・ 無料でごくたのしめました。ケンビキョーがおもしろい
- ・ ゆっくり又来たいです
- ・ とてもたのしかったからまたきたい。

● 11月

- ・ ワニがすごかつた。おいしそうなパンもあってまたきたいとおもった。
- ・ 小さいながらもよかったです。

● 12月

- ・ それはまさに…おもしろの極み！！
- ・ 思った以上に興味深かったです 何分もある動画を立ったまま見るのはきついので、イスを用意していただけると。(1Fのコンピュータのところ)

● 1月

- ・ 楽しかった。歴史を感じました。
- ・ 大きい
- ・ とてもたのしかった。

● 2月

- ・ 大阪大学の歴史や自然がよくわかりました。本日は 時間が少なくあまり詳しく見ることができませんでした。家族をつれて 1 日位かけてじっくりと見学を又させていただきます。ありがとうございました。大変しげきを受けました！
- ・ 京大より見応えがあった。緒方洪庵の映画をみに来たのですが…
- ・ 楽しく観させていただきました。ありがとうございます。
- ・ ありがとうございました 大変興味深く見学させていただきました
- ・ 2回目ですが、やっぱり何回来ても良い所です。3回・4回と行きたいです(^v^)v
- ・ もう一度行きたい(^▽^)/

● 3月

- ・ 4月の恐竜のんは面白そう
- ・ すいていて見やすかったです
- ・ 凄く面白くて "ヘエーッ" ってなるものばかりでした。

# 団体見学一覧

※事前に申し込みのあった団体のみを掲載

No.	月 日	曜日	団 体 名	人 数	説明教員
	2011 年				—
1	4月 6日	水	大阪大学経済学部同窓会・第 11 期同期会	38	横田
2	4月 11日	月	平成 23 年度「大阪大学の歴史」授業	90	江口
3	4月 21日	木	鳥取県米子市立弓ヶ浜中学生 3 年生	16	—
4	4月 25日	月	平成 23 年度「地球科学 A」授業	72	—
5	4月 27日	水	平成 23 年度「宇宙地球の考え方」授業	180	—
6	5月 18日	水	豊中市立小中学校教育研究協議会	7	—
7	5月 25日	水	よくばり探索会	16	豊田
8	5月 25日	水	大阪府立和泉高等学校	135	横田
9	6月 6日 ～6月 18日	月～土	デイサービスみらい	54	—
10	6月 7日	火	豊中市立刀根山小学校	115	—
11	6月 11日	土	豊中市 東豊台公民分館	30	宮久保
12	6月 11日	土	石橋×阪大	15	宮久保
13	6月 17日	金	大阪市立高等学校教育研究会 社会科(地理歴史科・公民科)部会	8	松永
14	6月 18日	土	阪大創立 80 周年記念展 見学会	30	橋爪
15	6月 21日	火	みらいのこころ	4	—
16	6月 27日	月	みらいのこころ	3	—
17	7月 7日	木	みらいのこころ	4	—
18	7月 23日	土	昭和薬科大学附属高校	19	—
19	7月 25日	月	ハン・リム大学研修生	19	—
20	7月 25日	月	岐阜県立可児高等学校	84	—
21	7月 25日	月	兵庫県立社高等学校	35	—
22	7月 26日	日	富山中部高校	20	—
23	7月 27日	水	市立伊丹高校	57	—
24	7月 27日	水	富山県立南砺福野高等学校	88	豊田
25	7月 28日	木	須磨学園高等学校	36	—
26	7月 29日	金	富山県立砺波高校	22	高橋
27	8月 1日	月	韓国ソウル・慶文高校	40	—
28	8月 5日	金	灘学習院	60	—
29	8月 8日	月	星稜高等学校	25	—
30	8月 11日	火	土佐高校	25	—
31	8月 19日	金	豊中市教育委員会	6	伊藤 (研究支援推進員)
32	8月 26日	金	JICA 事業「博物館集中コース」	5	中久保 (埋蔵文化財調査室)
33	8月 29日	月	東北学院大学博物館見学実習	93	—
34	8月 30日	火	稻田塾 (JTB 西日本)	46	—
35	9月 12日	月	チャームデイサービスセンター豊中旭ヶ丘	10	—
36	9月 26日	月	チャームデイサービスセンター豊中旭ヶ丘	10	—
37	10月 1日	土	大阪大学生活協同組合主催「博物館・適塾ツアー」	40	松永
38	10月 4日	火	28 史遊会(老人大学歴史考古学 OB)	28	中久保
39	10月 7日	金	住吉高等学校	80	高橋
40	10月 7日	金	大阪府立天王寺高等学校	26	—
41	10月 12日	水	滋賀県立東大津高等学校 PTA	55	—

No.	月 日	曜日	団 体 名	人 数	説明教員
42	10月12日	水	平成23年度工学部地球総合工学科3年生 授業	30	—
43	10月19日	水	大阪府立三島高等学校	74	—
44	10月20日	木	開明高校	20	—
45	10月20日	木	近畿大学附属新宮中学校	40	橋爪
46	10月21日	金	島根県立松江南高校 PTA	50	横田
47	10月21日	金	石川県立金沢泉丘高校	41	豊田
48	10月22日	土	三重県立津東高等学校 PTA	40	宮久保
49	11月 5日	土	夕陽さんさんの会	20	伊藤
50	11月10日	木	阪大冶金33会	12	松永
51	11月11日	金	仙石会	15	豊田
52	11月12日	土	箕面難聴者サークル「木かけ」	8	宮久保
53	11月15日	火	報徳学園高等学校	93	—
54	11月17日	木	鹿児島中央高校	80	—
55	11月18日	金	池田シニア探訪会	70	—
56	11月19日	土	福島空港PR産業	15	横田
57	11月21日	月	大阪大学工学部通信工学科S36卒	12	—
58	11月25日	金	兵庫県立宝塚北高等学校グローバルサイエンスコース	42	伊藤
59	11月28日	月	International Conference on Artificial Reality and Telexistence cecicat 2011.	54	安藤 (兼任教員)
60	11月29日	火	いきいきWALK会	30	—
61	11月30日	水	豊中市サンマテオ市姉妹都市協会	3	松永
62	12月 2日	金	ORD(大阪府研究開発型企業振興会)	15	高橋
63	12月 3日	土	三重県立桑名高等学校 PTA	80	—
64	12月 5日	月	平成23年度工学部 授業	90	—
65	12月12日	月	ふれあいセミナー21	36	豊田
66	12月15日	木	第13回理学懇話会	29	宮久保
	2012年				
67	1月 27日	金	国立大学法人10大学理学部事務長会議	11	—
68	2月 3日	金	ズームス	5	安藤
69	3月 3日	土	社団応身学士会	60	江口
70	3月 8日	木	大阪青凌中学	34	—
71	3月22日	木	関西医大 同窓会	2	松永
72	3月31日	土	新制第15回経済学部同窓会	30	—
73	3月31日	土	阪大法学部39年卒同期会	15	—

計 2,902 人

# 受賞・表彰等一覧

## ◆ 大阪大学第一号磁界型電子顕微鏡が「重要科学技術史資料」に登録

国立科学博物館は、貴重な科学技術史資料の保存と活用を図り、次世代に継承していくことを目的として、重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）の登録制度を2008年度より実施しており、2011年度には新たに20件の資料が登録されました。その中に、大阪大学総合学術博物館所有の、1939年に大阪大学工学部の菅田榮治助教授（当時）によって製作された「大阪大学第一号磁界型電子顕微鏡（関連資料を含む）」も選ばれています。

登録証の授与式が9月27日（火）に東京上野の国立科学博物館においておこなわれ、大阪大学からは江口理事・副学長（前大阪大学総合学術博物館長）、高橋准教授（大阪大学総合学術博物館）と西准教授（超高圧電子顕微鏡センター）が出席しました。

大阪大学第一号磁界型電子顕微鏡は、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館2階の常設展示「みる科学」にて展示されており、どなたでも実物を見ることができます。

### 重要科学技術史資料 登録内容

登録年月日	2011年9月27日
登録番号	第00092号
登録名称	第一号磁界型電子顕微鏡および関連資料 —磁界レンズを用いたわが国初の電子顕微鏡—
製作者	菅田榮治
製作年	1939年



重要科学技術史資料登録を示す盾と登録証



左から、菅田榮治氏のお孫さん、西准教授、江口理事、菅田榮治のお孫さん、高橋准教授



大阪大学第一号磁界型電子顕微鏡

## ◆ 総合学術博物館『眞島利行ウルシオール研究関連資料』が「認定化学遺産 第011号」に登録

2007年3月に発足した「日本化学会化学遺産委員会」では、2009年度から事業の一環として、世界に誇る日本の化学関連の文化遺産を認定し、それらの情報を社会に向けて発信する『化学遺産認定事業』を開始しました。

第3回目となる2011年度、総合学術博物館所有の眞島研究室で単離・合成されたウルシオールやハイドロウルシオールなどの標本、ウルシオールの構造研究に用いられたオゾン発生器など、ウルシオール研究関連の資料が日本化学会「化学遺産」として認定・登録されました。

登録証の授与式が2012年3月26日（火）に行われ、江口理事・副学長（前大阪大学総合学術博物館長）、豊田准教授（大阪大学総合学術博物館）が出席しました。なお、認定証の盾は、理学研究科G棟1階の玄関ホールに展示されています。

### 認定化学遺産 登録内容

登録年月日	2012年3月26日
登録番号	第011号
登録名称	眞島利行ウルシオール研究関連資料



登録証の授与式の様子（写真中央右：江口理事）



眞島利行の漆の研究で使用されていたオゾン発生装置



認定化学遺産であることを示す登録盾

# 関連記事一覧

## 新聞

No.	掲載日	曜日	掲載紙名	内 容
2011年				
1	4月19日	火	大阪日日新聞	関西美術端探訪 阪大美学研究室 <447> 大阪大学総合学術博物館待兼山修学館ステンドグラス
2	4月20日	水	毎日新聞	大阪大学創立80周年記念展「阪大生・手塚治虫―医師か？マンガ家か？―」
3	4月22日	金	朝日新聞	TOWN 観る ◆大阪大学創立80周年記念展「阪大生・手塚治虫―医師か？マンガ家か？―」
4	4月28日	木	朝日新聞	学生・手塚治虫 阪大で企画展 ノートや写真など
5	5月8日	日	大坂日日新聞	「医師か？マンガ家か？―」「学生・手塚」の軌跡 母校の阪大で企画展
6	5月10日	火	鍼灸柔整新聞	大阪大学創立80周年記念展『阪大生・手塚治虫―医師か？マンガ家か？』
7	5月12日	木	宮崎日日新聞	若き日の「漫画の神様」 医学生と二足のわらじ
8	5月13日	金	愛媛新聞	"漫画の神様"の黎明期 大阪で「阪大生・手塚治虫」展
9	5月13日	金	四國新聞	若き日の漫画の神様
10	5月14日	土	日本海新聞	若き日の漫画の神様 大阪で「阪大生・手塚治虫」展
11	5月15日	日	朝日小学生新聞	行ってみよう 大阪・医学生時代の手塚治虫展
12	5月17日	火	岐阜新聞	"漫画の神様"の原点 大阪で「阪大生・手塚治虫展」
13	5月19日	木	朝日新聞	研究者と科学語ろう 来月～10月 阪大で「カフェ」
14	5月19日	木	福井新聞	母校・大阪大で手塚治虫展 在学時の2つの顔紹介
15	5月21日	土	南日本新聞	医師？マンガ家？ 手塚治虫の黎明期紹介
16	5月22日	日	読売新聞	絵本を「まちかねたワニ」
17	5月27日	金	The Japan Times	ART OPENING OSAKA "Tezuka Osamu's Student Life in Osaka University: To be a Doctor or a Manga Artist, that is the Question"
18	6月12日	日	朝日小学生新聞	行ってみよう 阪大博物館・サイエンスカフェ
19	7月15日	金	朝日新聞	大阪北摂 大阪大人事
20	8月15日	月	日本経済新聞	オムニス関西 クロニクル 2007年8月18日 阪大の博物館施設オープン
21	8月26日	金	読売新聞	音で伝えるマチカネワニ
22	9月15日	木	朝日新聞	最先端の物理学 高校生に
23	12月1日	木	読売新聞	脳の中の「わたし」と情報の中の<私>自分とは？ 参加して考える
24	12月19日	月	日本経済新聞	ミュージアムレクチャー
2012年				
25	1月27日	金	産経新聞	「脳の中の『わたし』と情報の中の<私>」展

※教員関連の記事は「5. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

## その他刊行物

No.	掲載誌名	刊・号 等	内 容
1	広報とよなか 豊中市	2011/4/1発行 通巻732号	市制施行75周年記念事業 阪大生・手塚治虫(企画展)
2	広報とよなか 豊中市	2011/5/1発行 通巻733号	市制施行75周年記念事業 阪大生・手塚治虫(企画展)
3	ともも 有限会社 ともも	2011年5月 No.117	とももメッセージボード ギャラリー・催し 大阪大学総合学術博物館『阪大生・手塚治虫―医師か？マンガ家か？』
4	Hello! Doctor アミューズ	2011年5月6日発行 通巻48号	豊中市制施行75周年記念事業・大阪大学総合学術博物館第13回企画展 大阪大学創立80周年記念展 阪大生・手塚治虫―医師か？マンガ家か？―
5	マチゴト豊中・池田 毎日新聞社	2011.5.26. vol.22	CULTURE 能勢街道をゆく⑭ 石橋周辺
6	OSAKAモノレールプレス つれてって。 サンケイリビング新聞社	2011年6月1日 第156号	大阪大学総合学術博物館 レトロモダンの建物の中には阪大の知的財産がいっぱい
7	ザ・淀川 淀川通信舎	第361号 2011/6	Information 6月 『阪大生・手塚治虫―医師か？マンガ家か？』
8	広報いけだ 池田市	平成23年4月1日号 No.1085	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 「阪大生・手塚治虫―医師か？マンガ家か？―」
9	広報いけだ 池田市	平成23年5月1日号 No.1086	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 「阪大生・手塚治虫―医師か？マンガ家か？―」
10	広報いけだ 池田市	平成23年6月1日号 No.1087	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 「阪大生・手塚治虫―医師か？マンガ家か？―」

## その他刊行物

No.	掲載誌名	刊・号等	内 容
11	週刊実話 株式会社日本ジャーナル出版	平成23年6月30日発行 通巻二七四二号	"医師"と"漫画家" 「神の手」を持った手塚治虫が平成に降臨!
12	これがウチの十八番 やねん! いしばし商店街	2011年6月16日 ~18日	第13回企画展 阪大生・手塚治虫展 —医師か?マンガ家か?—
13	広報とよなか 豊中市	平成23年7月1日 通巻735号	夏の小学生科学体験教室
14	広報いけだ 池田市	平成23年7月1日号 No.1088	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 開館案内 等
15	豊中市 蓦らしの便利帳 2011 豊中市	平成23年7月発行	太古の化石 マチカネワニ発見!
16	広報いけだ 池田市	平成23年8月1日号 No.1089	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 開館案内 等
17	広報いけだ 池田市	平成23年9月1日号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 開館案内 等
18	大阪ミュージアム構想 いざ北摂へ 大阪府	秋号9月~11月	北摂 秋のイベント情報案内 大阪大学総合学術博物館第14回企画展
19	KANSAI大学博物館 ガイド ブルース・インター アクションズ刊	平成23年9月30日	謎を秘めた化石と対峙する 他
20	Hello! Doctor アミューズ	2011年9月15日発行 通関50号	豊中市制施行75周年記念事業 大阪大学総合学術博物館第13回企画展 阪大生・手塚治虫 医師か?マンガ家か?
21	NEWS SPOT 大阪国際空港ターミナル株式会社	2011年9月22日発行 Vol.275	となりの見どころ 第4回大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
22	広報いけだ 池田市	平成23年10月1日号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 第14回企画展「脳の中の「わたし」と情報の中の<私> —五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—」
23	関西ウォーカー (株)角川マガジンズ	2011年18日発行 第18巻 第20号 通巻443号	最先端の研究が間近に! 国立大ミュージアム 大阪大学総合学術博物館待兼山修学館
24	これがウチの十八番 やねん! いしばし商店街	2011年10月16日 ~18日	大阪大学総合学術博物館からのお知らせ 脳の中の「わたし」と情報の中の<私>
25	はろーあさひ 阪田新聞舗 川西山下店 ときわ台店	2011年10月 第329号	大阪大学総合学術博物館第14回企画展 脳の中の「わたし」と情報の中の<私>
26	OSAKAモノレールプレス つれてって。 サンケイリビング新聞社	2011年11月1日 第161号	地元のミュージアムに行こう 大阪大学総合学術博物館 第14回企画展 脳の中の「わたし」と情報の中の<私>
27	OSAKAモノレールプレス つれてって。 サンケイリビング新聞社	2011年11月1日 第161号	大阪ミュージアム北摂フォトギャラリー in 万博 マチカネワニ(豊中市)
28	広報いけだ 池田市	平成23年11月1日号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 第14回企画展『脳の中の「わたし」と情報の中の<私> —五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—』
29	第9回関西文化の日 関西元気文化圏推進協議館	平成23年11月19日・ 20日他の広報用パンフレット	2011(平成23)年度 関西文化の日 府県別 入館無料 施設リスト 大阪府 大阪大学総合学術博物館
30	大阪人 (財)大阪市都市工学情報センター	平成24年1月16日発行 第66巻1号	脳の中の「わたし」と情報の中の<私> —五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—
31	子供の科学 誠文堂新光社	2011年11月10日発行 2011年12月号	第14回企画展「脳の中の「わたし」と情報の中の<私>—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—」
32	広報いけだ 池田市	平成23年12月1日号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 第14回企画展『脳の中の「わたし」と情報の中の<私> —五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—』
33	広報とよなか 豊中市	2012/1/1発行 通巻741号	新春市長座談会 科学のまち・豊中から 未来へ大きく羽ばたこう

## その他刊行物

No.	掲載誌名	刊・号等	内 容
34	広報いけだ 池田市	平成24年1月1日号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 第14回企画展『脳の中の「わたし」と情報の中の<私>—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—』
35	これがウチの十八番 やねん！ いしばし商店街	2012年1月15日 ～18日	大阪大学総合学術博物館からのお知らせ 脳の中の「わたし」と情報の中の<私>
36	広報いけだ 池田市	平成24年2月1日号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 第14回企画展『脳の中の「わたし」と情報の中の<私>—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—』 第5回特別展「巨大ワニと恐竜の世界—巨大爬虫類2億3千万年の攻防—」
37	広報いけだ 池田市	平成24年3月1日号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館 第14回企画展『脳の中の「わたし」と情報の中の<私>—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—』 第5回特別展「巨大ワニと恐竜の世界—巨大爬虫類2億3千万年の攻防—」

※教員関連の記事は「5. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

## インターネット

No.	掲載 HP	内 容
1	OSAKA - INFO 大阪観光案内 財団法人 大阪観光コンベンション協会	大阪大学創立80周年記念展 阪大生・手塚治虫—医師か？マンガ家か？—
2	どこいこマップ	豊中市・大阪大学総合学術博物館第13回企画展 阪大生・手塚治虫—医師か？マンガ家か？—
3	西宮市ホームページ 生涯学習情報	阪大生・手塚治虫—医師か？マンガ家か？—大阪大学創立80周年記念展 <市外生涯学習情報>
4	手塚治虫公式サイト 虫ん坊 2011年6月号(111)	コラム 虫さんぽ 第16回：【夏休み関西さんぽ・前編】大阪界隈：医大生時代の手塚先生の足跡を歩く！
5	関西文化の日 2011年11月実施の参加情報	脳の中の「わたし」と情報の中の<私>—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—
6	Center of the History of Japanese Industrial Technology	Essential Historical Materials for Science and Technology Registration in fiscal year 2010
7	一般社団法人 国立大学協会	国立大学フェスタ 2011 大阪大学総合学術博物館第14回企画展
8	SciencePortal 独立行政法人科学技術振興機構	サイエンスカフェ案内 サイエンスカフェ@待兼山
9	脳情報通信融合研究センター イベント情報	大阪大学総合学術博物館 第14回企画展「脳の中の「わたし」と情報の中の<私>—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—」開催のお知らせ
10	イベントde クーポン ぐるなび	第14回企画展 脳の中の「わたし」と情報の中の<私>—五感を揺るがす摩訶不思議なメディア技術—
11	えるこみ関西 エリア情報アラカルト アート&シアター	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 第14回企画展 脳の中の「わたし」と情報の中の<私>—五感を揺るがす摩訸不思議なメディア技術—

## ラジオ・テレビ等

No.	掲載誌名	刊・号等	内 容
1	毎日放送ラジオ 「日曜出勤生ラジオ」	5月1日(日)	大阪大学総合学術博物館第13回企画展 阪大生・手塚治虫—医師か？マンガ家か？—
2	ジェイコムアワー・ 街ネタ天国	5月4日(水)～5月10日 (火)	大阪大学総合学術博物館
3	NHK 「関西ラジオワイド」	5月12日(木)	『企画展 阪大生・手塚治虫』(中継)
4	関西テレビ「スーパー ニュースアンカー」	5月26日(木)	木曜企画「手塚治虫を考える」
5	NHK BS ハイビジョン ブ レミアム 8 ワイルドライフ	5月30日(月)	アフリカ大サバンナ巨大ワニ知られざる愛と知恵に迫る
6	J:COM チャンネル やっぱ地元っ Show 03ステーション	9月2日(金)	マリンバ演奏会（場所：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
7	TBS テレビ みのもん たの朝ズバッ！	9月9日(金)	“人喰い”ワニ捕獲 日本にも巨大ワニが
8	MBS テレビ VOICE	3月16日(金)	小松左京氏宅で大阪万博の貴重資料発見

# 寄贈図書一覧

No.	寄贈者	書名
1	池田市立歴史民俗資料館	没後 200 年 岩春展
2	泉大津市教育委員会	泉大津の産業と文化—泉大津市立総合館ガイドブック—
3	泉大津市教育委員会	おはつ研究 (Vol.8) <研究紀要>
4	和泉市久保惣記念美術館	特別展 装身具 - 日本・中国・朝鮮 よそおいの美 -
5	和泉市久保惣記念美術館	財団法人 久保惣記念文化財団 寄贈品図録
6	茨木市教育委員会	平成 22 年度発掘調査概報 -個人住宅建築に伴う発掘調査報告-
7	岩手県立博物館	平成 22 年度岩手県立博物館年報
8	岩手県立博物館	岩手県立博物館開館 30 周年記念特別企画展「いわての漆」関連事業 秋季セミナー講演集 いわての漆の魅力をさぐる
9	岩手県立博物館	岩手県立博物館収蔵資料目録 第 23 集 考古 IX 高橋昭治コレクション（豊岡遺跡）その 2
10	岩手県立博物館	岩手県立博物館調査研究報告書第 26 冊 人首川流域における古代末期遺跡調査報告書
11	宇治市歴史資料館	宇治市歴史史料館年報 平成 21 年度 2009
12	宇治市歴史資料館	収蔵資料調査報告書 13 宇治市の写真資料 3
13	宇治市歴史資料館	特別展 巨椋池 - そして、干拓は行われた -
14	大阪市立大学大学史資料室	恒藤記念室叢書 1
15	大阪城天守閣	徳川時代大阪城関係史料集 第十四号
16	大阪城天守閣	大阪城天守閣復興 80 周年特別展 天守閣復興
17	大阪市立東洋陶磁美術館	李秉昌博士記念韓国陶磁報告 V
18	大阪府教育委員会文化財保護課	第 40 回 日本伝統工芸近畿展図録
19	大阪府教育委員会文化財保護課	大阪府の漁撈習俗とエビス神信仰
20	大阪府立狭山池博物館	古代狭山池と大地開発のはじまり 平成 23 年度 特別展
21	大阪歴史博物館	幕末・明治の超絶技巧
22	大阪歴史博物館	大阪歴史博物館年報 平成 22 年度
23	大阪歴史博物館	大阪歴史博物館開館 10 周年記念 特別展 民都大阪の建築力
24	大阪歴史博物館	開館 10 周年記念 特別展 心斎橋 着物 モダン —煌めきの大大阪時代—
25	大阪歴史博物館	柳宗悦展 - 暮らしへの目差し -
26	大山崎町歴史資料館	大山崎町歴史資料館 館報 第 17 号
27	大山崎町歴史資料館	第 19 回企画展 千石の茶湯 - 利休と秀吉をさえた文化 -
28	岡山市デジタルミュージアム	菓子木型 - 和のかたち -
29	小樽市総合博物館	小樽市総合博物館紀要 第 25 号
30	香川県立ミュージアム	ミュージアム調査研究報告 第 2 号
31	香川県立ミュージアム	ミュージアム調査研究報告 第 3 号
32	香川県立ミュージアム	収蔵資料目録 2
33	香川県立ミュージアム	収蔵資料目録 3
34	香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアム年報 第 2 号 (平成 21 年度)
35	香川県立ミュージアム	図録「徳川四天王 井伊家の至宝展」
36	香川県立ミュージアム	図録「平山郁夫展 日本の美をたずねて」
37	香川県立ミュージアム	高松松平家博物館図譜 写生画帖 菜蔬
38	鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 No.9
39	鹿児島大学総合研究博物館	LARGE FORAMINIFERA GREENHOUSE CONSTRUCTIONS AND GARDENERS IN THE OCEANIC MICROCOOSM
40	笠岡市立竹喬美術館	笠岡市立竹喬美術館 年報 2006 ~ 2010
41	柏原市立歴史資料館	柏原ふどう物語
42	柏原市立歴史資料館	赤馬伝説
43	柏原市立歴史資料館	柏原市立歴史資料館館報 第 23 号 - 2010 年度 -
44	関西学院大学	関西学院所蔵の絵画 II Art of the Bible - 視る聖書の物語 -
45	関西学院大学博物館開設準備室	戦後の演劇の世界 大阪上演とその時代 I
46	関西大学大阪都市遺産研究センター	大阪都市遺産研究叢書 1 大阪時事新報記事目録 建築と社会編 昭和 I
47	関西大学大阪都市遺産研究センター	大阪都市遺産研究叢書 2 大阪時事新報記事目録 文芸と映画編 昭和 I
48	関西大学大阪都市遺産研究センター	大阪都市遺産研究 第 1 号
49	関西大学大阪都市遺産研究センター	2011 大阪都市遺産 秋の国際シンポジウム 青春と戦争の惨禍 大阪日赤と救護看護婦
50	関西大学博物館	「関西大学博物館紀要」第 17 号
51	関西大学博物館	「関西大学博物館所蔵 本山彦一蒐集資料目録」
52	関西大学博物館	「平成 23 年度関西大学博物館企画展 登録有形文化財登録記念 関西大学博物館蔵 本山コレクションの由来」図録
53	関西大学博物館	「阡陵 関西大学博物館学課程創設 50 周年記念特集」
54	きしわだ自然資料館	『きしわだ自然資料館研究報告』第 3 号
55	北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 B 類 歴史 第 8 号
56	北九州市立自然史・歴史博物館	禅寺広寿山の名室 - 小倉にひらいた中国文化の華 -
57	九州産業大学美術館	刷師「岡部徳三」と版画工房の仕事
58	九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告第 9 号
59	九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館概要 (平成 23 年度版)
60	九州大学総合研究博物館	外部評価報告書 九州大学総合研究博物館 平成 17 ~ 21 (2005 ~ 2009) 年度
61	九州大学総合研究博物館	Bulletin of the Kyushu University Museum Number10 2012
62	京都芸術センター	京都芸術センター開設 10 周年記念誌
63	京都大学総合博物館	平成 22 年度京都大学総合博物館年報
64	京都日本画家協会	京都日本画家協会創立 70 周年記念特別展 日本画 きのう・京・あす
65	公益財団法人 泉屋博古館	泉屋博古館 50 年史
66	神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館	神戸大学海事博物館研究年報 2010 (平成 22 年度) No.38
67	神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館	海事博物館企画展図録 2010
68	神戸大学大学院人文学研究科海港都市研究センター	海港都市研究 第 7 号

No.	寄贈者	書名
69	国土交通省関東地方整備局長野県埋蔵文化財センター	濁り遺跡 久保田遺跡 西一里塚遺跡群 中部横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 4 -佐久市内4-
70	国土交通省関東地方整備局長野県埋蔵文化財センター	国道474号(飯喬道路)埋蔵文化財発掘調査報告書5-飯田市内その5- 井戸端遺跡・下村遺跡(鶴ヶ城跡)・芦ノ口遺跡
71	国土交通省関東地方整備局長野県埋蔵文化財センター	一般国道18号(坂城更埴バイパス)埋蔵文化財発掘少佐報告書3-千曲市内その3- 東條遺跡ほか
72	国立科学博物館	日本の科学者技術者展シリーズ 第9回 化学者展—ニッポンの近代化学の夜明け—
73	国立民族学博物館文化資源研究センター	文化資源研究センター活動報告2010
74	財團法人 阪急文化財団	平成21年度 財團法人 逸翁美術館年報
75	財團法人 阪急文化財団	平成22年度 財團法人 逸翁美術館年報
76	堺市博物館	特別企画展『百舌鳥古墳群-その出土品からさぐる-』
77	堺市博物館	陵墓古写真集II
78	堺市博物館	堺市博物館優品図録 第三集
79	堺市博物館	堺市博物館報 第30号
80	堺市博物館	堺出土の茶陶 一備前焼一
81	堺市博物館	開口神社と堺
82	堺市博物館	岸谷勢藏画 堀市第一次疎開地区記録を読む
83	滋賀大学経済学部附属史料館	滋賀大学経済学部附属史料館研究紀要 第四十四号
84	滋賀大学経済学部附属史料館	西川伝右衛門家文書総目録
85	静岡県博物館協会	「静岡県博物館協会研究紀要第34号」
86	鳥根大学ミュージアム	鳥根大学ミュージアム年報 平成22年度
87	島本町教育委員会生涯学習課	島本町文化財調査報告書 第17集
88	吹田市立博物館	吹田市立博物館報10 平成20年度(2008年度)版
89	吹田市立博物館	吹田市立博物館報11 平成21年度(2009年度)版
90	吹田市立博物館	西村公朝作品・資料目録(西村家所蔵)
91	仙台市博物館	仙台市博物館調査研究報告第31号
92	太子町立竹内街道歴史資料館	太子町立竹内街道歴史資料館館報第17号
93	たばこと塩の博物館	2010年度版 たばこと塩の博物館 年報
94	たばこと塩の博物館	華麗なる日本の輸出工芸
95	帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告VIII
96	帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告 X III
97	帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報VI
98	東京工業大学	東京工業大学130年史 Tokyo Institute of Technology 130th Anniversary in 2011
99	同志社大学歴史資料館	岩倉忠在地遺跡II
100	同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館館報 第14号
101	東北大学総合学術博物館	【Bulletin of the Tohoku University Museum】No.10 2011
102	東北福祉大学芹沢鉢介美術工芸館	東北福祉大学芹沢鉢介美術工芸館 年報2号(2010年度)
103	徳川美術館	徳川美術館ガイドブック
104	長崎大学環境科学部環境教育研究マネジメントセンター	環境教育研究マネジメントセンター年報『地域環境研究』第3号
105	長野市教育委員会文化財課	大名の旅 -松代藩の参勤交代-
106	名古屋市科学館	名古屋市科学館紀要(第36号 2010)
107	名古屋市科学館	名古屋市科学館紀要(第37号 2011)
108	名古屋市博物館	名古屋市博物館 年報 No.34 平成22年度
109	新潟市美術館	新潟市美術館年報 VOL.5 2005-2009
110	西宮市立郷土資料館	第27回特別展示案内図録
111	西宮市立郷土資料館	西宮市立郷土資料館 研究報告 第九集
112	西宮市立郷土資料館	西宮市文化財資料 第56号 西宮の祭礼(1)
113	根津美術館	根津美術館紀要 此君 第3号
114	根津美術館	春日の風景-麗しき聖地のイメージ-
115	根津美術館	受贈記念特別展 中国の陶磁・漆・青銅
116	根津美術館	百椿図
117	広島大学総合博物館	広島大学総合博物館研究報告3
118	福井県立恐竜博物館	新説 恐竜の成長 -The Growth and Behavior of Dinosaurs
119	佛教大学宗教文化ミュージアム	佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要 第七号
120	松代文化施設等管理事務所	真田宝物館収蔵品目録 真田家旧蔵資料目録-香道具・遊具-
121	松代文化施設等管理事務所	松代 第24号
122	三浦市教育委員会	三浦市埋蔵文化財調査報告書 第23集 平成20年度遺跡試掘調査
123	八尾市立歴史民俗資料館	平成二二年度特別展 高安の神と仏 人と信仰
124	八尾市立歴史民俗資料館	平成23年度特別展 八尾の至宝 -八尾市指定文化財20周年記念-
125	柳沢文庫古文書クラブ	西矢田宮座年代記
126	立命館大学 国際平和ミュージアム	立命館平和研究 -立命館大学国際平和ミュージアム紀要- 第13号
127	龍谷大学文学部博物館実習室	2010年度 12月展 いきものがたり ~人と動物の暮らし~
128	龍谷大学文学部博物館実習室	2010年度 博物館実習報告 第29号
129	龍谷大学文学部博物館実習室	2011年度 博物館実習報告 第30号
130	和歌山県立博物館	特別展 華麗なる紀州の装いーかみ・ひと・はとけをつなぐー
131	和歌山県立博物館	特別展 中世の村をあるくー紀美野町の歴史と文化ー
132	和歌山市立博物館	川端龍子と和歌山-120年の絆-
133	和歌山市立博物館	和歌山市立博物館報 26
134	和歌山市立博物館	[特別展]祇園南海とその時代
135	和歌山市立博物館	和歌山市立博物館研究紀要第26号
136	和歌山大学紀州経済史文化史研究所	紀州経済史文化史研究所紀要 第32号
137	和歌山大学紀州経済史文化史研究所	みる・きく・たのしむ和歌祭
138	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	表象とかたちー伊藤蒸朔と昭和の舞台美術ー



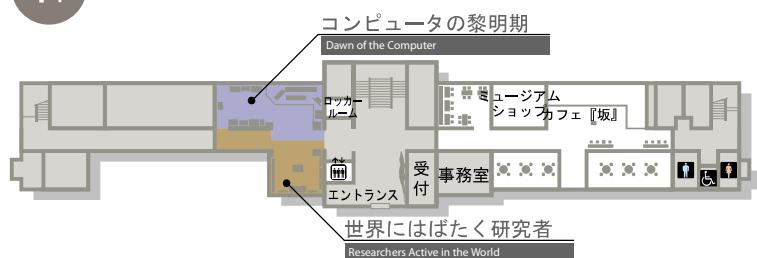
# 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館



「知」を軸に人・モノ・情報が出会い、交流し、新たな「知」の創造を目指す。

## 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館のご案内

1F



### コンピュータの黎明期 Dawn of the Computer

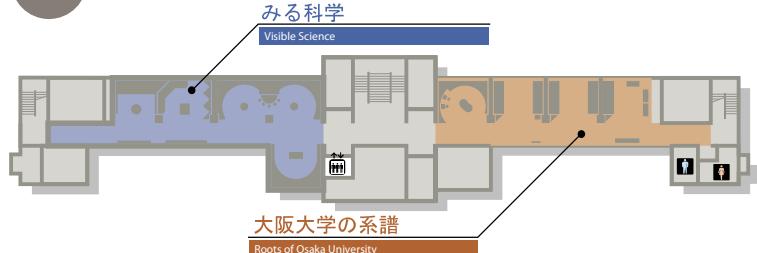
阪大では、第二次世界大戦後もなく真空管式コンピュータの研究と試作を始めました。その当時誕生したばかりの真空管式コンピュータと、時代の先駆を担った研究者たちを紹介しています。

### 世界にはばたく研究者 Researchers Active in the World

ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹が、中間子論を着想した大阪大学物理学教室。当時、日本の科学の中心といわれた理学部の自由な研究環境、そこに関わりのある様々な研究者を紹介しています。

### ミュージアムカフェ「坂」 Museum Cafe 「SAKA」

2F



### みる科学 Visible Science

光学顕微鏡、電子顕微鏡、超高圧電子顕微鏡のしくみや、細胞より小さい分子の構造や、仕組みを明らかにするX線構造解析などの技術と、それらを利用した研究の一端を紹介しています。

### 大阪大学の系譜 Roots of Osaka University

かつての懐徳堂、適塾といった大阪市民の学問からの流れを継承し、今日まで受け継がれてきた大阪大学。その学問や研究活動と、社会との関わりの歴史を紹介しています。

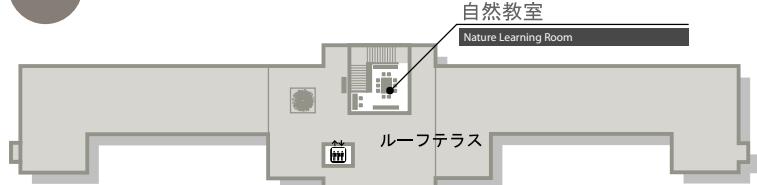
3F



### 待兼山に学ぶ Learning from Machikaneyama

阪大豊中キャンパスが位置する待兼山。古代の生物や、地形の変遷から、現在の豊かな自然の中で棲息する生き物の営みまで、地域に根ざしその変化を解明する研究を紹介しています。

R F



### 自然教室 & ルーフテラス Nature Learning Room

阪大キャンパスは豊中、吹田共に自然がいっぱいです。自然教室内に設置されたPCでは「阪大キャンパスに咲く花」を検索することができます。また、ルーフテラスに出れば背後の待兼山の息吹を感じることができます。

# Museum of Osaka University

---

## 編集後記

この年報を編集している 2012 年が総合学術博物館創立 10 周年ということで、さまざまな記念事業を実施する一方で作成が遅れていた「大阪大学総合学術博物館年報 2011」がようやく仕上がりました。2011 年の半ばには、江口前館長が本来の任期を半年残して、大阪大学全体の理事・副学長に就任され、橋爪新館長のもとでの新たなスタートを切るという、当館に取っては大きな出来事もありました。そういう特別な年の活動記録であり、またちょうど 10 冊目の年報でもあります。手に取って当館の進化の様子をご覧頂ければ、幸いに存じます。

年報の中ではあまり詳しくは取り上げていませんが、この年にはリニューアルされた大阪大学会館の運用も始まり、展示・実習室も使いやすいものになり教育に活用されています。また小規模ではありますが、歴史展示室が 3 F に設けられ、オープニング当初には貴重資料である「光明皇后発願 出曜経 卷第四」断簡や、初代総長である長岡半太郎先生の揮毫を展示いたしました。その後もさまざまな展示を行っておりますので、大阪大学会館へお立ち寄りの際にはこちらも覗いていただくようお願いいたします。

(文責 宮久保 圭祐)

---

---

## 大阪大学総合学術博物館 年報 2011

2013 年 2 月発行

編集・発行 大阪大学総合学術博物館  
〒 560-0043 豊中市待兼山町 1 - 13

印 刷 株式会社 セイエイ印刷  
〒 536-0016 大阪市城東区蒲生 2 - 10 - 33

表紙デザイン 辻村紀子（アトリエツジムラ）

---

